

パブリック・コメント「新庁舎整備に関する検討状況について」(令和5年9月1日～10月2日) 意見及び市の考え方のまとめ

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
1	「新庁舎整備に関する検討状況について」54 ページの1～2行目	三島市で生まれ育った身としては、北田町(現在地)に新庁舎を建て替えることを希望します。 ・慣れ親しんだ場所であること ・車以外のバス、電車の停留所から近いこと ・大社や本町、楽寿園などにぎわいづくりの場所からも近いためイベント時に連携が取りやすいこと やはり高齢者の割合がこれからも増え続けることを考えると、オンライン手続きが整備されても、高齢者が現地に足を運びやすい立地であることは必要であると考えます。	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。	今後の参考とするもの
2	「新庁舎整備に関する検討状況について」4 ページのページ全体	新庁舎整備について候補地と施設規模について分かりやすく説明されていると思いました。 気になった点としては、2点。 二日町広場になった際、確実に起きる付近の交通渋滞の解消に向けて、またバスでのアクセス手段が乏しい点についての対策検討案を開示していただきたいです。 また、現在二日町広場では静岡県下でも貴重な人工芝サッカーコートがあり、清水エスパルスジュニアユースを始め各スポーツクラブの活動場所として一定の成果を挙げており、また、自分の子供も参加している市民スポーツ活動の重要施設となっています。これが失われると市民の健康支援、数少ない大規模公園としての防災拠点の役割などに影響があるかと思われしますが、そちらの代替地の検討なども合わせて情報の開示をいただきたいと思います。	交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。 また、南二日町広場で整備する場合には、配置計画にもよりますが、スポーツ施設の代替が必要と考えておりますので、今後、具体的な検討を進めていきます。 当市においては、スポーツによる健康都市づくりの計画もありますので、市民のニーズに適したスポーツ施設の充実を図ってまいります。 なお、防災拠点については、新庁舎を南二日町広場に整備した場合でも、自衛隊の活動拠点を敷地内に併設することは可能と想定しておりますが、運用方法・計画等の見直しは必要になるものと考えております。 これらの検討時期については、整備候補地の選定並びに大まかな配置を定めた上で、次期計画である基本計画や基本設計の策定段階において、より詳細な検討を進めていくこととしています。検討結果等は、市ホームページなどで随時に公開してまいります。	今後の参考とするもの
3	「新庁舎整備に関する検討状況について」5 ページの19～22行目	あまり利用しないので、建て替えなくても良いのではないか 耐震性を上げる工事ならばと思う	資料5～6ページに記載しておりますが、現庁舎においては、一定の耐震性能は確保しているものの老朽化が進み毎年多額の維持管理費用が必要となっていることや、スペース不足、庁舎機能の分散などによる課題を解決するため、新庁舎の整備が必要と考えています。 なお、市議会にて設置された「市議会公共施設等マネジメント検討特別委員会」や、学識経験者や関係機関及び関係団体にて組織された「公共施設マネジメント検討委員会」からも同様の提言を受けております。	反映できないもの
4	「新庁舎整備に関する検討状況について」4 ページの3～5行目	候補地になぜ現在地か南二日町に限定しているのか？南二日町は高額な地代を払っているか聞いていたがなぜそんなところを検討するのか？もし楽寿園に賃貸料がかかってないならそれも候補地としてなぜあげないのか？現在の役所を移転して三島大社の観光客用の駐車場にしてそれを収入にしたりする考えはないのか？自治体によっては主要駅前に庁舎があるところもあります。それはその自治体の顔になると思います。なので私の希望は楽寿園が第一希望です。議員さんから聞きましたが学校数は減らさないと行ってました。子供が減っているにもかかわらず学校がそのままとは？教師も足りないか聞いてます。学校が統合することによってまずは教師不足を解消。さらには学校経費の削減。そして学校の跡地の再利用も出来ます。そのような発想はないのでしょうか？学校も庁舎移転の候補地にはしないのでしょうか？税金使用の削減は考えないのでしょうか？あと三島ではスポーツ広場が少なすぎです。学校統合して跡地としてスポーツ施設も作れると思います。庁舎の立て替えに伴ってもっと考えて頂きたいです。	南二日町広場については、敷地規模や交通のアクセス性、利便施設の併設の可能性、災害時の受援体制等の観点から、候補地の一つとしています。 南二日町広場の敷地の大部分は市有地のため、配置などを工夫することによって、庁舎敷地を借地部分から除くことは可能と考えております。 新庁舎の整備地については、これまでいくつかの敷地で検討を行いましたが、敷地規模やコンセプトなどの違いから、北田町(現在地)と南二日町広場の2つの候補地が残ったことから、現在は二択にて検討を進めています。 当市の新庁舎整備は、分散されている庁舎機能を集約化することで、中央町別館などが跡地になりますので、用途を終えた後においては、まちなかの賑わいづくりの拠点となるような活用方法を検討していきます。 なお、楽寿園敷地においては、都市公園であることから、大規模な施設を建設することはできません。 また、学校施設に関しては、ファシリティマネジメントの観点を踏まえ、地域コミュニティの核となる施設として、他の公共施設を複合化することにより、有効活用していくこととしています。	反映できないもの
5	「新庁舎整備に関する検討状況について」19 ページの35～ページ最後まで	できる限りコンパクトな規模で検討を進める中、二日町グラウンドのような面積で検討を進めるのは理解しがたい。 また、現在多くの団体や少年野球、サッカーが盛んに行われている場所を無くし、市政を優先するのは市民の幸福度、健康を損なうものと受け取れる。断固として反対する。 また、こちらの意見集約は資料をもとに意見を集めているが入力フォームの縛りが多く意見多くを集めようという意識が見えない。入力する途中で諦めさせようとしているのではないかとさえ感じる。 もっと簡素化して自由意見を集めるべきだと思う。	資料P43～48に記載しておりますが、庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパーレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。 当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同規模となっております。 このため、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、利用者が不便とならない配慮が必要と考えております。 また、南二日町広場については、敷地規模や交通のアクセス性、利便施設の併設の可能性、災害時の受援体制等の観点から、候補地の一つとしています。 なお、南二日町広場の敷地規模については、約16,000～18,000㎡を想定しており、敷地全体をすべて使用する計画とはしておりません。南二日町広場が整備地となった際には、過剰な敷地となることがないように検討を進めていきます。 南二日町広場で新庁舎を整備する場合には、スポーツの代替施設が必要になるケースがあると考えておりますので、事業の進捗状況に併せて、より具体的な検討を進めていきます。 当市においては、スポーツによる健康都市づくりとしての目標も掲げておりますので、市民のニーズやコスト面などを考慮しながら、施設の充実を図っていきたくと考えています。 パブリックコメントの入力フォームに関しては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とするもの
6	「新庁舎整備に関する検討状況について」88 ページの表14-1 概算事業費の比較	P52の3～4行目において『…、およそ240台に駐車台数を絞り検討していきます』とあり、南二日町広場へ新庁舎を建設した場合、既設の南二日町広場と比較して圧倒的に駐車台数が増加する。 現状、下田街道の二日町駅入口交差点から国道1号館の南二日町I.C東にかけて交通量が多く、南二日町I.C東の進入路側が赤信号の際には、下田街道側まで渋滞することがある。また、南二日町広場の最寄り駅である三島二日町駅から二日町駅入口交差点までの道路の幅員が狭く、大型車の通行もあり、三島二日町駅から二日町駅入口交差点方向に進む自動車が路側帯をはみ出して対向車とすれ違うため、雨天時は段差のある路側帯の歩行者は自動車とぶつかりそうになりながら傘をさして行き来している。 周辺道路や歩道の幅員が広く、既にバスベイ型の停留所が存在する北田町と比較し、南二日町広場周辺の交通量が増大する場合には、交通安全確保の観点から新庁舎建設と平行して周辺道路や歩道の整備が必要であり、P88の付帯業務費が両場所共に102,531千円と同額になる可能性はないものと考ええる。 P89の4～5行目において、『また、周辺交通への影響の検証は、今後策定予定の基本計画や基本設計の中で行いますが、この検証結果に応じては、別途費用が必要となる可能性があります。』との表現があるが、少なくとも表14-1の表中にも注意書きを加えることが必要だと考える。 また、建設予定地の方針を示す前までに具体的に周辺交通への影響を検証し、周辺道路や歩道の概算整備費を積み上げた付帯業務費を三島市民に提示して、両場所の必要経費を比較できるようにしてほしい。	交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。 また、資料P88に記載の表14-1にお示した付帯業務費とは、地盤調査やコンストラクション・マネジメント業務(中立的の立場からプロジェクト全体をより統合的にマネジメントする業務)費等のことで、周辺道路や歩道の整備費は含んでおりません。 なお、ご指摘いただきました、表14-1の表中の注意書きに関しては注記を加えます。	政策案に反映したもの(一部反映を含む)

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
7	「新庁舎整備に関する検討状況について」	遅いとは思いますが、将来の市民の利便性(老人等がバスを利用して往復可能)を考えて、2つの候補地以外の場所を提案します。現在または、南二日町に庁舎があると、駅南等に住む方で車のない方は、乗り換えしなくてははいけません。それを解消するためにまた、多くの市民の利便性のため提案します。三島駅南街区の商業施設の建設において、庁舎を複合して建設するものです。他の市でも行われております。	資料P39に記載しておりますが、新庁舎の整備地については、これまでいくつかの敷地で検討を行いました。敷地規模やコンセプトなどの違いから、北田町(現在地)と南二日町広場の2つの候補地が残ったことから、現在は二択にて検討を進めています。ご指摘いただきましたとおり、市民の皆様への利便性の確保は大変重要ですので、整備地や利便施設の内容等の重要な事項が定まった際には、広く周知してまいります。	反映できないもの
8	「新庁舎整備に関する検討状況について」8 ページの5～9行目	新庁舎のコンセプトである「市役所に来る必要がない市役所」を必ず実現して欲しい。DXの推進によるデジタル化で可能のはず。そうすれば、駐車場の数は最低限でいいはず。面積のスリム化を必ず実現して欲しい。コロナ禍以降、企業でもオフィスのあり方が見直されています。個人机を廃止し共用スペースを利用、work from homeの促進、ペーパーレスの徹底、などによりオフィススペースの削減は可能です。建物面積が減れば、建設費も維持費も大幅に削減できる。	「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。また、資料P43～48に記載しておりますが、庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となり、但し、いずれの候補地においてもペーパーレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算出した数値と同等規模となっております。このため、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、利用者が不便とならない配慮が必要と考えております。また、新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果となり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなります。現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定しております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。	今後の参考とするもの
9	「新庁舎整備に関する検討状況について」15ページの22～31行目	保健センター、社会福祉会館、高齢者いきがいセンターについて、新庁舎との複合化が提言されているが、「分散のまま」と「複合化すること」のメリット、デメリットをしっかりと検証して欲しい。何でも複合化すれば良いということではないと思う。複合化する対象が増えれば増えるほど、建設コストも維持費も増えてしまう。	建物系の公共施設については、公共建築物長寿命化指針により、目標使用年数を一般施設で60年としておりますが、長期にわたり使用を継続する施設においては、長寿命化改修工事などを実施することで、目標使用年数を80年にするとして定めております。築年数を経過した施設においては、目標使用年数の残存期間、施設を利用する間のコスト面での検証、施設の利便性や施設更新に関する建替え費用なども考慮する必要があります。統合や複合化を計画している各施設については、築年数が50年以上経過しているものも多く含まれており、使い続ける場合には、早急に大規模改修工事等を行わなければならない時期になっております。また、複合化を計画している各施設での業務においては、庁舎機能との関連性が高く、施設の利便性の観点から庁舎に近い立地を望む声も多くいただいております。このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討をしていただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。コスト面や利便性などを十分に踏まえた上で、可能な限り統合や複合化を推進してまいります。	反映できないもの
10	「新庁舎整備に関する検討状況について」16ページの16～18行目	「将来的な職員数の減少を見込み、床面積は過大なものにならないように配慮」、「行政手続きのオンライン化、業務のペーパーレス化やテレワークの導入などを推進し、床面積のスリム化を検討」とありますが、正にそのとおりです。床面積のスリム化は必ず実現してください。それにより、建設コストも維持費も削減できます。	資料P43～48に記載しておりますが、庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となります。但し、いずれの候補地においてもペーパーレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。事業費並びにライフサイクルコストを抑制する上で、延床面積の削減は非常に効果的であることから、必要最低限の庁舎規模となるように努めていきます。	今後の参考とするもの
11	「新庁舎整備に関する検討状況について」17ページの図2-1	市民アンケートの結果を見ると、困ったことの1位が駐車場の利用(60.8%)、2位が担当部署の場所(45.3%)、窓口の分散(24.4%)です。しかし、これは全て市役所の出向いた場合の課題です。新庁舎のコンセプトである「市役所に来る必要がない市役所」を実現できれば、ほとんど、解決できる課題です。「市役所に来る必要がない市役所」の実現をお願いします。	「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。	今後の参考とするもの
12	「新庁舎整備に関する検討状況について」18ページの図2-1	市役所を訪れる頻度を見ると、毎日、週に1度、月に1度を合わせても僅か8.4%です。残りの人は、数ヶ月に1回、1年に1回、数年に1回、訪れたこと無し、です。この数字を見ても、市役所に頻繁に行かなくてはいけない人は決して多くはありません。「市役所に来る必要がない市役所」の実現は十分に可能です。そうすれば駐車場の数は最低限でいいはず。一方、頻繁に市役所を訪れる人は何らかの問題を抱えているケースが多いのではないのでしょうか？こういう皆様への市役所の手厚いサポートが必要だと思えます。	「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果となり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなります。現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定しております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
13	「新庁舎整備に関する検討状況について」	2.新庁舎整備の基本方針について (3)のコンパクトな計画が良いと思います。一極集中は避け、DXを活用し、コンパクトに分け、市民サービスも地域密着型で行い、災害などのリスクにも分散した方が良いと思います。 とにかく、広い敷地にバカでかい箱物を作るという、1～2世代前の古い思考を止めましょう。	資料P43～48に記載しておりますが、庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。 当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同等規模となっております。 このため、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、利用者が不便とならない配慮が必要と考えております。 また、分散化とのご意見ですが、現在の庁舎施設については、庁舎機能が本庁舎、中央町別館、大社町別館の3カ所に分散されていることで、来庁者の利便性や事務の効率化、円滑な災害対応などに支障があると考えております。 市民アンケートにおいても集約化を望む声が最も多かったことから、1箇所に統合することで検討を進めています。 仮に、各施設を長期にわたり継続使用することとした場合、それぞれの施設において、大規模改修の費用や施設更新のための建て替え費用、築年数に応じた維持管理費などが必要になってくることから、老朽化が進行している施設においては、統廃合や複合化を進めることで、総量の最適化が図れることから、当市が置かれている現状においては、最善の手法であると捉えております。 このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討していただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。	今後の参考とするもの
14	「新庁舎整備に関する検討状況について」5ページの1～20行目	4.の候補地の特徴について 中身を拝見すると、南二日町広場に誘導するかのような、作爲的な内容に思います。広報である以上、公平中立の立場で、記載すべきではないでしょうか。	広報みしま9月1日号には新庁舎整備に関する検討状況の概要を記載しておりますが、市民ワークショップや新庁舎整備検討委員会などの過程を経た上で、市民の関心が高いと思われる項目を中心としております。 決して作爲的に作成したものではありません。	その他(質問など)
15	「新庁舎整備に関する検討状況について」5ページの21～26行目	5.の跡地活用の検討について 南二日町広場は、現在多くの市民の健康管理や楽しみの場所になっています。市民が安全に楽しむ場所を潰さないで下さい。三島市には幾つかのグラウンドはありますが、まだまだ整備されていません。 周りの市町村に比べても、クオリティはかなり低いです。市民の健康を考えるならば、南二日町広場は、残すべきです。	南二日町広場で新庁舎を整備する場合については、スポーツの代替え施設が必要になるケースがあると考えておりますので、事業の進捗状況に併せて、より具体的な検討を進めていきます。 当市においては、スポーツによる健康都市づくりとしての目標も掲げておりますので、市民のニーズやコスト面などを考慮しながら、施設の充実を図っていきたく考えています。	今後の参考とするもの
16	「新庁舎整備に関する検討状況について」の1～30	新庁舎建設で、100億円以上、駅前開発で60億円以上と限りある予算を無駄なく使ってほしいものです。予算は市役所職員の物ではなくはずです。賑わいの町でなく、住みやすい三島にしてほしいです。歩道整備や自転車専用道(矢印ではない)を整備するなど、市民の安心・安全に取り組むべきではないだろうか。一朝一夕で出来ないのは誰でも分かっているのだから、やれない事の言い訳ばかりでなく、どうしたら出来るか考え、早急に実行してほしいです。 この頃、周りの市町村の方が住みやすく感じられると、よく聞きます。	三島市の最上位計画である第5次三島市総合計画の基本目標である「交流とにぎわいのあるまち」や、「安心・安全に暮らせるまち」を踏まえた上で、限りある予算の中、コスト面を考慮しながら、市民目線に立って本事業を進めてまいります。	今後の参考とするもの
17	「新庁舎整備に関する検討状況について」17ページの表2-2	市民アンケートの結果の主な意見に、分散した庁舎の統合を求める人が多い、とある。一方、実際に訪問する庁舎は、本庁舎が95.6%と圧倒的に多い。つまり、統合は必須の要件ではないと考える。特に、平成8年に建設された大社町別館はそのまま利用すべきである。統合と分散のメリット、デメリットをしっかりと議論すべきである。	現在の庁舎施設については、庁舎機能が本庁舎、中央町別館、大社町別館の3カ所に分散されていることで、来庁者の利便性や事務の効率化、円滑な災害対応などに支障があると考えております。 市民アンケートにおいても集約化を望む声が最も多かったことから、1箇所に統合することで検討を進めています。 仮に、各施設を長期にわたり継続使用することとした場合、それぞれの施設において、大規模改修の費用や施設更新のための建て替え費用、築年数に応じた維持管理費などが必要になってくることから、老朽化が進行している施設においては、統廃合や複合化を進めることで、総量の最適化が図れることから、当市が置かれている現状においては、最善の手法であると捉えております。 このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討していただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。	反映できないもの
18	「新庁舎整備に関する検討状況について」43ページの3～4	施設の規模は国の面積算定基準を参考にした、とあります。一方、新庁舎の方針として、面積のスリム化(8ページ、16ページ)、新たな働き方への対応(42ページ)、サテライト市役所によるサービスの提供(22ページ)が書かれています。新庁舎の方針に従えば、施設規模はもっと縮小できると思います。例えば、特別職3名の面積は約108畳(36畳/人)です。部長級13名の面積は約234畳(18畳/人)です。大き過ぎます。	庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。 当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同等規模となっております。 このため、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、利用者が不便とならない配慮が必要と考えております。	今後の参考とするもの
19	「新庁舎整備に関する検討状況について」52ページの表7-7	来庁者(一般市民)に比べて公用車等の数が多い。公用車とは具体的に何を指しているのか？	資料P50～52に記載の公用車等とは、三島市や複合化施設(社会福祉協議会など)が所有もしくはリースを受けている四輪車のことを示しています。 公用車等については、施設を統合することで、スケールメリットが生じると考えていることから、新庁舎の整備後には、2割程度の車両が削減できると見込んでおります。	その他(質問など)
20	「新庁舎整備に関する検討状況について」56ページの図9-5	南二日町広場へのメイン道路からの渋滞が頻発している。9/1号の広報みしまには、国道1号からの乗り入れも検討、とあるが、このためのコストは見積もりに含まれているのか？	交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。 資料P64に記載の南二日町広場の配置計画案については、災害時の国道1号への乗り入れを想定しており、そのための費用は、配置計画⑤及び⑥ともに浸水対策費の中に含んでおります。	その他(質問など)
21	「新庁舎整備に関する検討状況について」60ページの図9-8	都市機能誘導区域の区域図には、中心地区とは別に、飛び地に大規模商業施設、南田町広場、南二日町広場、保健センターが挙げられている。コンパクトシティという考え方からすると、この飛び地の箇所を含めるのは合理的ではないのではないか？	資料P60に記載がされておりますが、都市機能誘導区域の設定に関しては、市街地に種地となる敷地が少なかったことから、三島市都市計画マスタープランにて中心拠点に位置づけされる公有地を活用していくことが必要とされ、南二日町広場などが編入されています。 立地適正化計画においては、「居住者の共同の福祉や利便性の向上を図るために必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するもの」として多くの公共施設や民間商業施設などを定めており、これら施設利用者の居住を誘導するための区域として設定した、居住誘導区域が周辺に位置する北田町(現在地)や南二日町広場は、いずれも市役所を整備する敷地としてふさわしいものと考えております。	反映できないもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
22	「新庁舎整備に関する検討状況について」63ページの表10-4	配置計画④北田町が一番合理的だと思います。平地駐車場の179台で十分だと思います。配置計画の図の左上の部分には駐車場としてのマークが抜けています。表10-3には明記されています。この部分は179台に含まれていますか？	資料P49～52に記載をしておりますが、新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があると思定をしております。北田町（現在地）での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。配置計画④の計画図の一部において、区画線が描かれておりませんでした。抜け落ちていた部分を含めての179台となります。こちらについては、修正をさせていただきます。	政策案に反映したものの（一部反映を含む）
23	「新庁舎整備に関する検討状況について」64ページの表10-5、表10-6	浸水対策が必要とありますが、駐車場の部分の盛り土のコストしか含まれていないではありませんか？昨日(13日)の台風でも日立市役所の1階まで浸水しています。茂原市役所も同様に浸水しています。茂原市役所の場合、直ぐ近くの河川が氾濫しています。大場川の氾濫も大いにあり得ます。この程度の浸水対策費で本当に大丈夫ですか？やはり、河川の近くである南二日町広場は新庁舎として不適切だと思います。	南二日町広場の現配置計画における概算事業費については、敷地とした範囲をかき上げることや緊急時の際の国道一号線への乗り入れを考慮して、浸水対策費として計上しています。ご指摘の他市役所の浸水被害については、氾濫した河川の浸水想定区域図が示されていなかったことから、万全な対策が講じられなかったのではと認識をしています。三島市におきましては、既に国や静岡県からの指定を受け、浸水想定が示されていることから、事前に適切な対策を行うことで、想定し得る最大規模の洪水時においても庁舎機能が維持できるものと考えています。	その他（質問など）
24	「新庁舎整備に関する検討状況について」18ページの図2-1	ネットで見れる市民アンケート調査の結果に中に、市役所を訪れる用件は、「戸籍・住民・印鑑等の登録や証明書に関すること」が83.6%と最も多く、とあります。今後、DXが進展すれば、ほとんどの登録、証明書に関する手続き処理は、市役所に行かなくてもできるようになると思います。10年後もやはり市役所に行かないとできない手続きには何が残りとお考えですか？市役所を訪れる用件は、市民に聞くまでもなく、日々、市民と対応されている窓口の市職員も分かるはずで。市職員への調査は行われたのでしょうか？	新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。また、新庁舎を整備する際には、将来の人口減少やDX技術などの進展の影響により、余剰空間が生まれた場合には、コミュニティスペースなどに活用ができるように、設計段階から可変性を考慮した計画としていきます。	今後の参考とするもの
25	「新庁舎整備に関する検討状況について」84ページの表13-7	賑わい創出の観点からも北田町に新庁舎を建設し、大通り商店街、三嶋大社と連携したコンパクトな繁華街形成が合理的かつ現実的だと思います。	資料の第13章に記載をしておりますが、跡地の利活用については、スマートフォンなどから得られるビッグデータをもとに「まちなかの賑わいづくり」の方向性を検証するため、スマート・プランニングを候補地ごとに実施しております。シミュレーションの結果によりますと、いずれの候補地に庁舎を整備した場合においても、跡地等を公共施設よりも民間施設として活用する方が人の回遊行動が増加する傾向を確認しております。検証による傾向としては、南二日町広場に庁舎を整備するシナリオで、より数値が高く表れておりますが、新庁舎の整備地は、市民皆様の御意見を参考として、総合的な観点のもと、決定していきたくと考えております。	今後の参考とするもの
26	「新庁舎整備に関する検討状況について」35ページの15行目	コスト、利便性、駐車場の広さと余裕など、どれをとっても南二日町の方に軍配を上げます。また、今の庁舎はいかに貧弱で、他の市町の庁舎に比べて著しく見劣りします。北田町を推す人は、選んだ理由を見ると、現在の庁舎の近くの一部の市民の方々ではないでしょうか。	いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。	今後の参考とするもの
27	「新庁舎整備に関する検討状況について」19ページの17行目	新庁舎整備にあたっての要望・提言の(1)に十分な駐車場の設置、とあります。新庁舎のコンセプトは、「市役所に来る必要がない市役所」とあります。このコンセプトから考えると、十分な駐車場は不必要であり、必要最低限の駐車場で十分です。	「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があると思定をしております。北田町（現在地）での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。	今後の参考とするもの
28	「新庁舎整備に関する検討状況について」19ページの38-39行目	「オンライン等を通じて最寄りの施設から様々な手続きが可能なサテライト市役所によるサービスの提供」とありますが、大賛成です。「新庁舎に行かなくてはならないこと」、「サテライト市役所で可能なこと」、「コンビニなど他の施設で可能なこと」、「自宅からネット経由で可能なこと」、市民の視点でどういうサービスの提供の仕方が最も市民の利便性に適しているかをしっかりと検討して欲しいと思います。大規模な新庁舎が良いという考えは時代に合っていないと思います。	庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパーレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。	今後の参考とするもの
29	「新庁舎整備に関する検討状況について」19ページの41-43行目	「将来人口推計を見据え、出来る限りコンパクトな規模」、「将来の様々な変化に柔軟に対応できるように施設に可変性を持たせる」とあります。二点とも大変重要です。是非、実現してください。	庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパーレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。新庁舎を整備する際には、将来の人口減少やDX技術などの進展の影響により、余剰空間が生まれた場合には、コミュニティスペースなどに活用ができるように、設計段階から可変性を考慮した計画としていきます。	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
30	「新庁舎整備に関する検討状況について」20ページの表2-3	新庁舎の事業手法等に関して、「北田町は敷地規模に限られている」、「南二日町は敷地規模に余裕がある」、との表現があります。しかし、「市役所に来る必要がない市役所」という基本コンセプト、及び「出来る限りコンパクトな規模」という観点を十分に考慮した上で、必要最低限な敷地規模を考えるべきだと思います。	「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。南二日町広場の敷地規模については、約16,000～18,000㎡を想定しており、敷地全体をすべて使用する計画とはしていません。南二日町広場が整備地となった際には、過剰な敷地となることがないように検討を進めていきます。	今後の参考とするもの
31	「新庁舎整備に関する検討状況について」20ページの表2-3	その他の意見に、南二日町は想定最大規模(千年に1度の確率による降雨で1.4m程度の浸水)とありますが、最近の線状降水帯による多くの水害を見れば、千年に1度の確率、ということを鵜呑みにすることは極めて危険です。明日にも水害は起こり得るという考えで全ての対策を考えるべきだと思います。	新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。	今後の参考とするもの
32	「新庁舎整備に関する検討状況について」22ページの表2-5	観光客に三島を知ってもらい、町のために動き出してもらおう出発拠点、と書いてあります。とても良い視点だと思います。駅前の東急ホテルは、広域観光交流拠点のシンボルです。既に開業して3年経過しています。「観光客に三島を知ってもらい、町のために動き出してもらおう出発拠点」としてどういう実績があるのか教えてください。	資料P21～22に記載の「観光客に三島を知ってもらい、町のために動き出してもらおう出発拠点」については、明治大学大学院理工学研究科の学生から提案のあった「市営駐車場の1Fを改修することで、出発拠点とする」といった内容からの抜粋となります。詳細については新庁舎整備のホームページ内の「これまでの経緯」から「明治大学大学院による跡地等の有効活用に関する調査・研究」をご確認ください。なお、当市の新庁舎整備については、分散されている庁舎機能を集約することで、中央別館などが跡地になりますので、まちなかの賑わいづくりの拠点等の用途として、次期計画以降に、より具体的な検討を進めてまいります。	その他(質問など)
33	「新庁舎整備に関する検討状況について」22ページの12～15行目	「オンラインなどを通じ、庁舎に来ることなく手続きや相談が行える体制整備……庁舎と文化プラザなどの出先施設をDX技術によってネットワークでつなぎ、最寄りの施設から様々な手続きを可能とするいわゆるサテライト市役所によるサービスの提供」とあります。大変に良いことだと思います。是非、実現してください。これにより、「市庁舎に来る必要がない市役所」、コンパクトな市庁舎が実現できます。広大な駐車場も不要です。	「サテライト市役所」とは、庁舎と出先機関をネットワークでつなぎ、最寄りの施設から様々な手続きが可能になるような検討をしております。新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパーレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同等規模となっております。このため、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、利用者が不便とされない配慮が必要と考えております。新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体が用いている算定基準を参考とし、186台分との結果となり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定をしております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要がありますと考えております。	今後の参考とするもの
34	「新庁舎整備に関する検討状況について」43ページの表6-1	電話交換室とありますが、電話交換手など必要なのでしょうか？	市役所の業務が多岐にわたることから、担当課が分からないという方のために代表電話番号を設けており、電話交換手によって担当課へ電話を繋いでいる為、電話交換手が必要な状況ですが、新庁舎整備の際には、外部のコールセンターの利用やシステムの導入などにより不要とすることを検討しております。なお、資料P43～46に記載の表6-1～6-3については、市や目安としている庁舎規模13,234㎡と比較するために、国土交通省の基準により算定したものを掲載しております。	その他(質問など)
35	「新庁舎整備に関する検討状況について」52ページの4行目	駐車場台数を240台としていますが、本当にそんなに必要ですか？「市役所に来る必要がない市役所」をコンセプトにしているわけなので、駐車場台数は最小減でいいはずですが。	新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体が用いている算定基準を参考とし、186台分との結果となり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定をしております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要がありますと考えております。	その他(質問など)
36	「新庁舎整備に関する検討状況について」55ページの4～6行目	1,000年に1回程度の想定し得る最大規模の降雨による洪水によって生じる洪水で浸水が想定される区域には南二日町も含まれていません。「1,000年に1回程度」という文言で極めて低い確率ということを表していますが、最近の線状降水帯による各地で発生する水害を見れば、明日、起こっても不思議ではありません。このようなリスクのある南二日町は新庁舎の場所として明らかに不適切です。	洪水浸水想定区域(想定最大規模)については、千年に1度の確率と称される「想定し得る最大規模の降雨」によって河川が氾濫し、浸水した場合における円滑かつ迅速な避難の確保を目的に定められており、狩野川水系の大場川流域については、48時間で総雨量844mmの降雨があった場合において、概ね100mから200mごとに河川が破堤や越水、溢水した状況を浸水解析し、最悪のケースを想定したもので、南二日町広場における浸水深は1.4m程度となっています。新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
37	「新庁舎整備に関する検討状況について」61ページの13行目	前提条件に駐車台数は240台とあります。「市役所に来る必要がない市役所」をコンセプトにしているのになぜ240台の駐車台数が必要なのか不明です。どうしても市役所に来ないといけない用事には何かあるのかを教えてください。	「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいります。一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定しております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。	その他(質問など)
38	「新庁舎整備に関する検討状況について」61ページの29行目	北田町には立体駐車場が必要とありますが、そもそも240台の駐車台数は不要だと思いますので、立体駐車場を建設する必要はないと思います。	新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定しております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。立体駐車場については、事業費並びにライフサイクルコスト、利便性の観点から、出来る限り避けたいと考えていますが、北田町(現在地)においては、敷地面積が約7,000㎡のため、平面駐車場のみで整備をしようとすると、通路部分を含めて6,000㎡(240台×25㎡)の駐車場敷地が必要となります。単純計算とはなりますが、残り約1,000㎡の部分に13,234㎡の新庁舎を建設しようとすると、新庁舎の建物は13階建て以上になってしまいます。現在の本庁舎の1階床面積が約2,100㎡ですので、新庁舎の1階部分は半分以下になってしまうことから、利用者の利便性を考慮すると立体駐車場が必要であると考えています。	反映できないもの
39	「新庁舎整備に関する検討状況について」64ページの表10-5	南二日町には浸水対策費が書かれていますが、この程度の費用で十分なのでしょうか？南二日町では、盛り土が必要と聞いています。その結果、洪水時の水流がより低地に流れ、その地域の水害リスクが高まります。その対策費はどうなっているのでしょうか？ そもそも浸水想定地域を選択するからこのような浸水対策費が必要になります。南二日町を選択する合理的な理由はないと思います。	新庁舎の整備地については、これまでにいくつかの敷地で検討を行いました。敷地規模やコンセプトなどの違いから、北田町(現在地)と南二日町広場の2つの候補地が残ったことから、現在は二択にて検討を進めています。南二日町広場がある大場川右岸側については、想定し得る最大規模の降雨により、溢水した場合の浸水を想定しておりますが、想定範囲は市内南部を中心に広域にわたっていることから、新庁舎整備の盛り土の影響による周辺地域への水位上昇の可能性はごくわずかと考えております。	その他(質問など)
40	「新庁舎整備に関する検討状況について」	現状と課題 移転候補地の検討されているが南二日町広場に移転が決定した場合の跡地利用が未定 課題解決の方策 移転候補地として①現在地②南二日町広場 が示しているが工事期間中の市役所機能分散問題や建設コストを考えれば南二日町広場しかないと思います。その場合に今の市役所跡地の検討が必要です。そのプランが「頼朝会館」の建設です。これにより三島大社に来た観光客を外に導き出して商店街の活性化につながると思います。「頼朝会館」には頼朝に関するものを展示したり頼朝の人物像が理解できる映像を流すと良いと考えています。 効果 観光名所になり三島に来る観光客が増加する。	当市の新庁舎整備については、分散されている庁舎機能を集約することで、中央町別館などが跡地になりますので、まちなかの賑わいづくりの拠点等の用途として、次期計画以降により、具体的な検討を進めてまいります。	今後の参考とするもの
41	「新庁舎整備に関する検討状況について」	コメント1. 最優先要求であるが、新庁舎は日常業務が災害時にも支障なく遂行できることと、災害時の防災に関する情報センターの役割が遂行出来る様に計画してほしい。	災害対策の本部については、本庁舎が手狭なため、大社町の総合防災センターに設置がされますが、本部員の多くの職員が他庁舎での勤務のため、有事の際には、移動を余儀なくされ、迅速かつ、円滑な災害対応に支障があると考えております。新庁舎においては、集約することで本部機能を中枢機関内に設けることが可能と考えますが、整備する場所により、敷地規模に大きな差があることから、災害時における支援体制や自衛隊等の受援体制などにも違いが生じるものと想定しております。市民の皆様生命、財産を守ることが市の責務であるため、より強固な災害対策を構築する必要があると考えていることから、計画の進捗に併せ、より具体的な内容の検討を進めてまいります。	今後の参考とするもの
42	「新庁舎整備に関する検討状況について」	コメント2. 上記に鑑みると、南二日町広場案は1000年に一度の大雨に備えるとしているが、1000年に一度の大雨とは具体的な時間当たりの雨量が数値で示されていないので大丈夫か不明である。私は大いに疑問である。理由はコメント3.に記す。	洪水浸水想定区域(想定最大規模)については、千年に1度の確率と称される「想定し得る最大規模の降雨」によって河川が氾濫し、浸水した場合における円滑かつ迅速な避難の確保を目的に定められており、狩野川水系の大場川流域については、48時間で総雨量844mmの降雨があった場合において、概ね100mから200mごとに河川が破堤や越水、溢水した状況を浸水解析し、最悪のケースを想定したもので、南二日町広場における浸水深は1.4m程度となっています。	その他(質問など)
43	「新庁舎整備に関する検討状況について」	コメント3. もし1000年に一度と言う事の裏付けをするのであれば、昨今の温暖化による大雨の発生状況を外挿した予想値で想定値を求めてほしいが、その値も高々ここ数十年に対してしか有効性は認められず、1000年後の想定値などなたも推定できないのではないかとと思われるので、1000年に一度の大雨にそなえるというのは確証のない文言と同じである。	洪水浸水想定区域(想定最大規模)は、俗に千年に1度の確率と称されていますが、狩野川水系の大場川流域については、中部地区内において、過去に観測された最大雨量をもとに算出がされており、1年を通して、1/1000以下の確率で発生すると想定がされていることから、新庁舎の整備地が南二日町広場になった際には、事前の対策が必要と考えております。	その他(質問など)

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
44	「新庁舎整備に関する検討状況について」	コメント4. 災害時の避難場所は、市庁舎のそばに大規模に準備するのではなく、住民の住んでいる近くの公民館や区民センター等を利用して分散化を図るべきである。この場合は、援助物資の輸送を確実迅速に行うための器材(ドローン等)や人的な配置を消防団などを活用して組織化してほしい。	各地区のコミュニティ防災センターの防災倉庫については、災害時において、市が被災地へ配布する備蓄品を保管しており、各避難所に用意している防災備蓄品とは別のものであり、1箇所に集約するほうが管理上も合理的なため、新庁舎が整備された際には、複合化する計画としています。 援助物資の搬送のご意見については、今後の参考とさせていただきます。	今後の参考とするもの
45	「新庁舎整備に関する検討状況について」	コメント5. 南二日町広場は災害発生時には被災することを前提にして被災しても被害が軽くて済む市民憩いの広場、スポーツ広場などを整備するのがよいのではないかと	現在の南二日町広場は、スポーツ施設として、サッカーやグラウンドゴルフなどでご利用いただいておりますが、立地的な条件や敷地規模、交通の利便性などから、新庁舎の整備地が北田町(現在地)となった際には、以後の用途などの検討も行うことになると考えています。	その他(質問など)
46	「新庁舎整備に関する検討状況について」	コメント6. 以上、主に防災の観点からのコメントであるが、今後の少子高齢化と税収減を視野に入れた街づくりをおねがいがしたい。	将来に予想されている人口減少社会の対策として、公共施設等総合管理計画や公共施設保全計画などを策定しており、全庁的な取り組みを実施しています。	今後の参考とするもの
47	「新庁舎整備に関する検討状況について」62ページの1行目以降	配置計画の①②③の北田町の仮設庁舎を少なくする案について、デメリットとして「工期がかかる」「工事エリアが手狭とある」とあるが、工事効率が下がり、工期がかかると当然工事費用が増すことになるが、そのあたりも庁舎建設費にしっかりと反映されているのか？	概算事業費については、国土交通省が公表している公共施設整備に係る新営予算単価の最新版を基に算出しており、これに将来の物価上昇分として年間3%を加味したものととなります。 しかしながら、基本構想の策定段階においては、設計に基づいた積算によるものではなく、あくまで検討のための概算値として算出したものであることをご理解いただきたいと思います。 ご指摘の工事期間が長くなるにつれ、工事費用が増加していくことは理解しておりますが、現段階においては、事業スキーム等が定まっていないことから、お示しすることができません。 概算事業費については、次期計画以降となる基本計画や基本設計、実施設計の各段階でも算定をしますので、算出が可能な状況になりましたら、随時にお示しをさせていただきます。	今後の参考とするもの
48	「新庁舎整備に関する検討状況について」86ページの15行目付近	240台の駐車場確保が必要となった場合に市営駐車場の活用なども検討する必要があるとあるが、現状で足りてない場合でも、市営駐車場を利用する人は少ないので、市民としては遠いと思っている。不足を補う為の恒久的な駐車場として市営駐車場を入れるのは現実的ではない。	北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、敷地規模やコスト面などから、240台以上の駐車場確保が困難になると想定がされるため、不足が生じた際には、市営中央駐車場や民間駐車場の活用も視野に入れる必要があると考えています。 また、市民のニーズに合った施設とするためには、より広い敷地の確保が効果的であることから、周辺敷地の取得等を検討する必要もあると考えております。	今後の参考とするもの
49	「新庁舎整備に関する検討状況について」88ページの4行目付近	仮設庁舎への一時的な引越し、臨時駐車場の費用、仮設庁舎の解体費用など、別途とあるが、試算できる金額は盛り込んで欲しい。また、臨時としても市営駐車場は不便である。	策定作業を進めている基本構想は、実施に向けた一番初めの段階で、新庁舎整備の考え方の骨格となるものとなり、市民などのニーズを踏まえながら、事業背景や事業実施の条件等を把握・整理した上で、大まかな規模や機能等を検討し、実施の必要性を検証する段階ととらえています。 しかしながら、整備候補地を定める重要な段階でもあるため、概算費用においては、可能な限り算出をしておりますが、事業スキーム等を定めないと算出できないものも多くありますので、別途となっているものは、現段階では算出が困難なものとご理解いただきたいと思います。算出が可能な状況になりましたら、随時にお示しをさせていただきます。 北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、敷地規模やコスト面などから、240台以上の駐車場確保が困難になると想定がされるため、不足が生じた際には、市営中央駐車場や民間駐車場の活用も視野に入れる必要があると考えています。 また、市民のニーズに合った施設とするためには、より広い敷地の確保が効果的であることから、周辺敷地の取得等を検討する必要もあると考えております。	今後の参考とするもの
50	「新庁舎整備に関する検討状況について」88ページの14行目付近	配置計画によっては、サッカーグラウンド等の代替施設を再整備する費用が別途かかるかとあるが、必ず代替を整備することが前提なのか？今までは、空地の有効活用だったので良かったと思うが、現状、サッカーをやる人以外のメリットがないので、庁舎が移転した場合は、再整備の再検討をして頂きたい、再整備する場合も、小中学校のグラウンドを改修して共用としたり、より幅広い使い方を検討し、なおかつ費用を押さえて頂きたい。	南二日町広場で新庁舎を整備する場合については、スポーツの代替施設が必要になるケースがあると考えておりますので、事業の進捗状況に併せて、より具体的な検討を進めていきます。 当市においては、スポーツによる健康都市づくりとしての目標も掲げておりますので、市民のニーズやコスト面などを考慮しながら、施設の充実を図っていきたくと考えています。 ご意見をいただきました他のスポーツグラウンドや小中学校のグラウンドの活用案については、非常に有益と考えられますので、今後において検討をしていきます。	今後の参考とするもの
51	「新庁舎整備に関する検討状況について」93ページの8行目以降	ここに書かれている災害時の観点から行けば、北田町では活動拠点を機能的に配置する事は難しいとあります。反面、南二日町は、各機関との連携も取りやすいようで非常に安心感があります。これは危機管理として重要な点と考えます。また、全体を通じて、工事費、駐車場問題、跡地の活用、LCC等、南二日町の方が良い点が多く、遠い未来を見据えた将来的な財政に心配がある中、北田町案にそれをくつがえずメリットがあるかを今後検討していただきたい。	いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選り抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。	今後の参考とするもの
52	「新庁舎整備に関する検討状況について」	北田町に賛成。 三島市役所なのだから、三島駅から徒歩圏内が良い。車を持つてる人ばかりではないし、今後は首都圏からの移住者も増えるし、車を所有しない人もいる。三島駅から徒歩で行けるのが良い。 また、北田町周辺の三嶋大社や広小路付近は立ち寄れるお店が多く、市役所ついでに気軽に寄れる場所があるため助かるし、市政を身近に感じれる。あかちゃんの部屋も設置してくれているので、街中に行政が関与してるベビーケアルーム(あかちゃんの部屋)があるのは信頼できて安心する。 周辺に何も無い南二日町は、何かのついでに寄るのが面倒だし、市政を遠くに他人事のように感じるように思う。	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。	今後の参考とするもの
53	「新庁舎整備に関する検討状況について」	安いに越したことはないのですが、南二日町の案が良いようにも思うけど、北田町にできた方が総合的に良いと思う。 駅近などアクセスが良いマンションや家は値段が高いように、アクセス良い場所であれば、ある程度コストがかかっても長い目で見れば、トントンになると思う。(バス代や電車代等の足代や、利便性、移動時間の短縮(時間は無限ではなく、time is money.精神で。)を考えれば。	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
54	「新庁舎整備に関する検討状況について」86ページの1行～最終行まで	<p>新庁舎は今と同じ場所にしていきたいと思います。理由は大きく2つあります。</p> <p>①二日町のグラウンドの場所に新庁舎を建てると、現在のグラウンドが使えなくなってしまいます。代わりにグラウンドを作る予定も無いようですので、市民が運動する場に困ります。三島市民体育館が近隣市町村(沼津、長泉など)と比べてプールの老朽化や体育館自体にエアコンが無く運動しづらいなど、ただでさえ運動施設が不満足な状態なのに加えて、二日町グラウンドを無くしてしまうと、運動施設がほとんどなくなってしまうことが予想されます。市民の健康のためにも良くないのではないのでしょうか。</p> <p>②二日町に市役所を建てると利便性が悪いです。イトーヨーカドーも無くなる噂されていますのでさらに市街地より外れる印象となります。</p> <p>現在の位置に市役所を建てた方がランニングコストが高いとのことですが、建物を分けると高くつくようであれば一体の建物を立てればよいし、ランニングコストが安くなる方法を突き詰めていくことはできないのでしょうか。</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。</p> <p>南二日町広場で新庁舎を整備する場合には、スポーツの代替え施設が必要になるケースがあると考えておりますので、事業の進捗状況に併せて、より具体的な検討を進めていきます。</p> <p>当市においては、スポーツによる健幸都市づくりとしての目標も掲げておりますので、市民のニーズやコスト面などを考慮しながら、施設の充実を図っていきたくと考えています。</p> <p>なお、北田町(現在地)のランニングコストが高くなる一番の要因は立体駐車場によるものとなっており、北田町に整備した場合、必要台数を確保するためには、立体駐車場は必要と考えております。</p>	今後の参考とするもの
55	「新庁舎整備に関する検討状況について」86ページの1～20行目	候補地ですが、二日町グラウンドをなくしてしまうのでしょうか。子供たちの運動不足が問題になっている昨今、運動する場が三島には少ないので、広いグラウンドがなくなってしまうのは運動の機会を失うのではないかと思います。お金はかかりますが、今の場所に建てて頂きたいです。	南二日町広場で新庁舎を整備する場合には、スポーツの代替え施設が必要になるケースがあると考えておりますので、事業の進捗状況に併せて、より具体的な検討を進めていきます。 <p>当市においては、スポーツによる健幸都市づくりとしての目標も掲げておりますので、市民のニーズやコスト面などを考慮しながら、施設の充実を図っていきたくと考えています。</p>	今後の参考とするもの
56	「新庁舎整備に関する検討状況について」	広い敷地で災害時にさまざまな団体との連携が回りやすいのはとても重要だと思います。中層の建物のため圧迫感もなく、開放的な雰囲気施設になってほしいです。	いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。	今後の参考とするもの
57	「新庁舎整備に関する検討状況について」54,55,64ページ	南二日町広場は標高約19.5mのハザードマップでも0.5m～3mの浸水の恐れが有り、尚且、すぐ横を大場川が流れています。1.5mの土地のかさ上げ程度では先日の9月8日の大雨で1Fと地下に浸水し災害対策本部を別の場所に置かなくなってしまった日立市役所の二の舞にはならないでしょうか？大場川は過去何度も氾濫しております。北田町の現在地での建替を希望します。	新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。 <p>災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。</p> <p>ご指摘の他市役所の浸水被害については、氾濫した河川の浸水想定区域図が示されていなかったことから、万全な対策が講じられなかったのではと認識をしています。</p> <p>三島市におきましては、既に国や静岡県からの指定を受け、浸水想定が示されていることから、事前に適切な対策を行うことで、想定し得る最大規模の洪水時においても庁舎機能が維持できるものと考えています。</p> <p>また、南二日町広場周辺においては、溢水から約3時間後に浸水が始まり、クラブハウス付近の最大浸水深は、溢水から約8時間後に約1.4メートルとなりますが、その後12時間以内には浸水がほぼ解消するとされております。</p>	今後の参考とするもの
58	「新庁舎整備に関する検討状況について」27ページ	市民ワークショップのメンバー構成が不明確であり選出に地域及び世代に偏りの意見になっていないか明確にされたい。	資料P27に市民ワークショップの構成名簿を記載しておりましたが、メンバーの市内地区及び年代については記載しておりませんでした。ご質問の内容は、以下のとおりとなります。 <p>市民参加者は、前回の市民会議の参加者の中から、11名が立候補しており、旧三島町地区4名、北上地区1名、錦田地区1名、中郷地区5名で構成がされています。</p> <p>自治会参加者は、市内を6ブロックに分け、各ブロック1名、学生参加者は、各市内高校から1名、市内の大学から1名、市職員は、若手の中からの立候補、その他の参加者は、各所属団体からの推薦者となります。</p> <p>参加者の世代については、10代～70代の方々に幅広く参加をいただいています。</p>	その他(質問など)
59	「新庁舎整備に関する検討状況について」29ページ	三島市全体の中期(5年)、長期(10年)の財政方針、財政計画についてどのように検討されているのか明確にされたい。	長期財政計画については、将来必要となる長期的な財政状況を把握するためのものであり、特定の年度において歳出が突出し、他の諸事業に影響が出ることはないよう、優先度を見極め、平準化することなどの参考とするものとなります。 <p>このため、長期財政計画をもって必要である事業予算の上限額を定めるものではございませんので、優先度に応じて事業費の確保を進めていくこととなります。</p>	その他(質問など)
60	「新庁舎整備に関する検討状況について」34～36ページ	第3回市民ワークショップの概要で「理想のまちなかと庁舎像から考える庁舎の位置について」A～Oの項目についての議論のまとめた内容が記載されているがどの意見がA,B,…N,Oに該当するのか理解しにくい。意見のまとめは項目ごとに整理したのが分かりやすい。	資料P34に記載のA～Oは、理想の庁舎像に関する主な意見をまとめたもので、この理想を踏まえてどちらの敷地がふさわしいか、P34～36に掲載の理由を伺ったものとなります。 <p>なお、お手数ですが、市民ワークショップの詳しい内容については、別途、ホームページに掲載しておりますので、そちらをご確認いただきたいと思います。</p>	その他(質問など)
61	「新庁舎整備に関する検討状況について」47ページ	人口の減少傾向が予測されているが市民の世帯当たり、一人当たりの財政負担は今後どのようになるのか不安である。明確にされたい。	新庁舎整備に関する総事業費は、現段階の概算で102億5千万円～127億4千万円となっており、積み立てを行っている庁舎建設基金を充てるほか、事業費の75%にあたる76億9千万円～95億6千万円については、地方債を活用する予定となっております。地方債については返済が伴いますが、今後の人口減少も加味した長期財政計画において、その返済を組み込んだうえで、他事業とのバランスを考慮しながら、持続可能な財政運営に努めていきたいと考えております。	その他(質問など)
62	「新庁舎整備に関する検討状況について」88ページ	概算事業費が記載されているが資金調達計画はどのように検討されているのか明確にされたい。	積立基金、地方債、一般財源により実施する予定となっております。また、防災や環境などの活用できる補助金等があれば積極的に活用していきます。	その他(質問など)
63	「新庁舎整備に関する検討状況について」88ページ	表14-2 施設全体(仮設庁舎を除く)概算LCCの比較と記載されていたが仮設庁舎の概算事業費を含んだ場合どのような金額になるのか明確にされたい。	国が示すライフサイクルコストの算定においては、仮設庁舎は一時的なものであるため、一般的には算入しないことになっております。仮設庁舎に要する費用は、表14-1 概算事業費の仮設庁舎建設費に含まれておりますので、ライフサイクルコストと合わせてご確認いただきたいと思います。	その他(質問など)

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
64	「新庁舎整備に関する検討状況について」	北田町(現在地)と南二日町広場の比較検討から明らかに新庁舎整備は南二日町広場へ移転すべきである。 理由 ①配置イメージ ・駐車場の確保が平置きで対処できる。 ・仮設庁舎が不要である。 ・工事期間中の交通渋滞が少ない。 ・引っ越しが一度で済む 理由 ②費用 ・建設費が北田町よりも10～24億円減額できる。 ・ライフサイクルコストが北田町よりも49～87億円少なくて済み市民負担が軽減できる 理由 ③防災 ・敷地が広いので災害時には様々な対応がし易い。	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。	今後の参考とするもの
65	「新庁舎整備に関する検討状況について」	その他 建設地をどちらにすべきかの最終決定は市民投票により決定すべきである。	当市の新庁舎整備のコンセプトは、多くの市民が望むものとしております。今後においても市民皆様への情報提供や意見聴取などを行いながら、長期にわたり利用しやすい施設となるように検討を進めていきます。	今後の参考とするもの
66	「新庁舎整備に関する検討状況について」86と88ページの全体	1. 新庁舎整備地については、86ページにあるよう2ヶ所にしぼられているが、私は南二日町を強力におしたい。88ページ記載のように、浸水対策を行っても、概算事業費は10億円余少なくて済むことのメリットは、今後の地方財政(源)の厳しさから考えても要請されることといえる。	いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。	今後の参考とするもの
67	「新庁舎整備に関する検討状況について」86と88ページの全体	2. 北田町庁舎とりこわし建て替えることによる、仮庁舎への移転、完成後戻ることに伴う経費の増加とそのため数年を要することを考慮すれば、南二日町の優位性ははるかに高く、効率的でもある。	新庁舎については、長期間の利用を見据えて、コスト面を意識して計画してまいります。また、来庁者の利便性の向上や事務の効率化、円滑な災害対応が求められており、これらを踏まえた上で、DX技術を積極的に活用するなどして、よりコンパクトな施設を目指してまいります。	今後の参考とするもの
68	「新庁舎整備に関する検討状況について」86と88ページの全体	3. そもそも市庁舎が街中にある必要はないと思う。跡地は市全体の産業振興として、商業、サービス業、飲食業、不動産業等(マンション等)で開発していくべきものと判断する。	跡地の利活用については、スマートフォンなどから得られるビッグデータをもとに「まちなかの賑わいづくり」の方向性を検証するため、スマート・プランニングを候補地ごとに実施しております。シミュレーションの結果によりますと、いずれの候補地に庁舎を整備した場合においても、跡地等を公共施設よりも民間施設として活用する方が人の回遊行動が増加する傾向を確認しております。検証による傾向としては、南二日町広場に庁舎を整備するシナリオで、より数値が高く表れておりますが、新庁舎の整備地は、市民皆様の御意見を参考として、総合的な観点のもと、決定していきたいと考えております。	今後の参考とするもの
69	「新庁舎整備に関する検討状況について」86と88ページの全体	4.南二日町に新しく市庁舎を整備したとしても、交通上のデメリットはあまりなく、平地での駐車場確保や環境面等を総合的に考慮すれば北田町より優位である。また周辺の開発も推進されるだろうし、新しい未来向けの三島市発展の起点ともいえるだろう。	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。	今後の参考とするもの
70	「新庁舎整備に関する検討状況について」	私は南二日町広場跡の案に賛成ですが、下記に依ります。 1. 近くにある三島市立保健センターも敷地内に取り込める。 私自身が、三島市立保健センターのお世話になっているのですが、建物自体も古く、こちらの設備もついでに建て替えて、跡地は、住宅地でも何にでも使えると思います。南二日町の駅の近くなので、何にでも使えると考えます。 2. 敷地が広いこと。 現在、交通インフラが発展していて、自走式乗り物等を使って集約された建て屋間を、将来的に使える拡張性があり、ガイドさえ付けば、お年寄りの方にも親切になるのでは？ 有事の際の避難場所にもなる。 3. 費用も、旧市役所跡を使うより安価である。	いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。 なお、いずれの候補地においても、保健センター機能は新庁舎へ取り込み計画となっております。	既に盛り込み済のもの
71	「新庁舎整備に関する検討状況について」40ページの表5-2	表5-2、表6-1において市としてはスマート市役所を宣言しているが、議会に対する対応が抜けている。 議会を行政に含めるなら議場は不要。表6-1では人口比あるいは社人研ベースで議会関係の広さを記しているが、現行の半数程度になる市勢を考えると、年間25日程度しか使用しない議場は不要。生涯学習センターの講義室の改築で使用可です。そうすれば、新庁舎1Fくらい減らせる！	新庁舎整備事業は、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、工事の各段階で、検討内容がより具体化してくるものではありますが、現在策定を進めている基本構想は実施に向けた一番初期の段階であり、事業背景や事業実施の条件等を把握・整理した上で、大まかな規模や機能等を検討し、実施の必要性を検証する段階ととらえています。今後、基本計画や基本設計などの段階で詳細に検討してまいります。	今後の参考とするもの
72	「新庁舎整備に関する検討状況について」35ページの15～38行目	「南二日町に建てたい」	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。	今後の参考とするもの
73	「新庁舎整備に関する検討状況について」	① 統合について P5 4行目 来庁者の利便性や事務の効率化～大きな問題～ 大きな問題とは何か P8のコンセプト「市役所に来る必要がない市役所」 P18の市役所を訪れる頻度では数か月に1回～数年に1回を合計すると約90% このために無理に統合する必要はないと考えます。	建物系の公共施設については、公共建築物長寿命化指針により、目標使用年数を一般施設で60年としておりますが、長期にわたり使用を継続する施設においては、長寿命化改修工事などを実施することで、目標使用年数を80年にすると定めております。 築年数を経過した施設においては、目標使用年数の残存期間、施設を利用する間のコスト面での検証、施設の利便性や施設更新に関する建替え費用なども考慮する必要があります。 統合や複合化を計画している各施設においては、築年数が50年以上経過しているものも多く含まれており、使い続ける場合には、早急に大規模改修工事等を行わなければならない時期となっております。 また、複合化を計画している各施設での業務は、庁舎機能との関連性が高く、施設の利便性の観点から庁舎に近い立地を望む声も多くいただいております。 このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討をしていただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。 コスト面や利便性などを十分に踏まえた上で、可能な限り統合や複合化を推進してまいります。	反映できないもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
74	「新庁舎整備に関する検討状況について」	② 分散型について P24自治体アンケート「庁舎機能集約81%、分散は無い」 20%は分散型では？また、三島市が考えている施設をすべて統合しているのか明確にすべき。 P35 市役所機能は、現在のように拠点分散型で構わない分散型であれば立体駐車場は無くても良いと考える。	現在の庁舎施設については、庁舎機能が本庁舎、中央町別館、大社町別館の3カ所に分散されていることで、来庁者の利便性や事務の効率化、円滑な災害対応などに支障があると考えております。市民アンケートにおいても集約化を望む声が多かったことから、1箇所に統合することで検討を進めています。仮に、各施設を長期にわたり継続使用することとした場合、それぞれの施設において、大規模改修の費用や施設更新のための建て替え費用、築年数に応じた維持管理費などが必要になってくることから、老朽化が進行している施設においては、統廃合や複合化を進めることで、総量の最適化が図れることから、当市が置かれている現状においては、最善の手法であると捉えております。このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討をしていただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合（複合化）すべきとの提言を受けているところです。	反映できないもの
75	「新庁舎整備に関する検討状況について」	③ 規模について P12 コンパクトな規模 P34 身の丈に合ったコンパクトなものづくり P35 市役所機能は、現在のように拠点分散型で構わない分散型、DX等導入で規模を見直すべきと考えます。	現庁舎においては、一定の耐震性能は確保しているものの老朽化が進み毎年多額の維持管理費用が必要となっていることや、スペース不足、庁舎機能の分散などによる課題を解決するため、新庁舎の整備が必要と考えています。なお、市議会にて設置された「市議会公共施設等マネジメント検討特別委員会」や、学識経験者や関係機関及び関係団体にて組織された「公共施設マネジメント検討委員会」からも同様の提言を受けております。庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもパーパレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同等規模となっております。	反映できないもの
76	「新庁舎整備に関する検討状況について」	④ コストについて P62～64 ・庁舎 北田町 2,286千円/坪～2,745千円/坪・・・事務所建設コストからみて高すぎる ・庁舎 二日町 ≒2,338千円/坪・・・事務所建設コストからみて高すぎる 北田町立体駐車場 約1,300千円/坪・・・常識はずれの金額 ・北田町仮庁舎 1.45～10億・・・学校空き教室、賃貸事務所を利用して経費ダウンすべき コロナ前まで、立駐は約300千円/坪、立派な事務所でも1,000千円/坪だったと思います。 コストの検証を徹底すべきで、このコストで市民に比較や意見を求めるのはおかしい。 そもそも立体駐車場は必要ないと思います。	概算事業費の算出については、国土交通省が公表している公共施設整備に係る新営予算単価の最新版を基に算出しており、これに将来の物価上昇分として年間3%を加味したものといたします。しかしながら、基本構想の策定段階においては、設計に基づいた積算によるものではなく、あくまで検討のための概算値として算出したものであることをご理解いただきたいと思っております。立体駐車場については、事業費並びにライフサイクルコスト、利便性の観点から、出来る限り避けたいと考えていますが、北田町（現在地）においては、敷地面積が約7,000㎡のため、平面駐車場のみで整備をしようとしますと、通路部分を含めて6,000㎡（240台×25㎡）の駐車場敷地が必要となります。単純計算とはなりますが、残り約1,000㎡の部分に13,234㎡の新庁舎を建設しようとすると、新庁舎の建物は13階建て以上になってしまいます。現在の本庁舎の1階床面積が約2,100㎡ですので、新庁舎の1階部分は半分以下になってしまうことから、利用者の利便性を考慮すると立体駐車場が必要であると考えています。	今後の参考とするもの
77	「新庁舎整備に関する検討状況について」	⑤ 財政について 人口減少、DX導入等や分散型を考慮し、事業費を圧縮すべきと考えます。 102億～127億円（コスト見直し必要）の庁舎は無理があり、身の丈に合った計画にすべき。 9/6静岡新聞に2022年度の一般会計が、追加交付税があったので黒字になったとの記事があったが そもそも、赤字国債からなる国・県の交付税がかなりの比率を占めるので喜べるものではない。 計画、コストを根本的に見直し将来の市民に負担のない庁舎とすべきと考えます。	新庁舎については、長期間の利用を見据えて、コスト面を意識して計画してまいります。また、来庁者の利便性の向上や事務の効率化、円滑な災害対応が求められており、これらを踏まえた上で、DX技術を積極的に活用するなどして、よりコンパクトな施設を目指してまいります。	今後の参考とするもの
78	「新庁舎整備に関する検討状況について」	新庁舎の場所について 現在の北田町か南二日町広場のどちらかという選択であれば、私は「南二日町広場」の方がよいと考えます。 既に決定された三島駅南口東街区の開発で多額の市民の税金がこれから投入され、続いて新庁舎整備にさらに多額の税金が投入されることは、特に今後の三島市を背負っていく世代に対して大きな負担を強いることとなります。事業費は可能な限り抑えるべきと考えます。 算出された事業費（資料p61-67新庁舎の配置計画及び事業費）をみますと、LCCを含めた全体の費用は南二日町案の方が北田町案に比べ48億9千万円～86億6千万円のコストセーブになっています。この差は大変大きな差です。 また、跡地利用に関する検証（p71～：サウンディング市場調査やスマートプランニングとそのシミュレーションの結果等）を見ると、現在の場所に建て替える北田町案が極めてメリット/アドバンテージがあるわけではなく、南二日町案の方が、跡地の利用による街中振興、市民のアクセス、災害時の支援拠点としての機能等の観点で対応力や自由度が高いと考えます。 2023年8月26日静岡新聞によれば、市議の意見は「現在地12人、移転2人、どちらとも言えない7人、その他1人」でした。現在地を推す理由は「市内の商店街などの要望を踏まえ「商店街や三嶋大社と共存してきた関係を維持するべき」など中心市街地のにぎわい拠点としての機能維持を求める意見が多かった。」とありました。これが主流の考えとすれば、大変懸念を覚えます。「商店街や三嶋大社と共存してきた関係を維持することで今後どう発展するのが大変漠然としており、定量的な理由も不明だと思えます。現在の場所に新庁舎を建てることは「商店街や三嶋大社と共存してきた関係を維持するべき」への回答になるかもしれませんが、三島市全域の今後の発展につながるドライビングエンジンになるとは思えません。より具体的な議論が必要だと考えます。 市役所は甚大災害の時、市民へのサービスや被災生活支援、復旧等の中心・拠点となる所だと思えます。多くの支援団体や物資供給運搬車などが集まる場所でもあると思えます。このような場合、スペースが限られた現在の場所に立体/機械式駐車場（※1）を備えた高層庁舎を建設した場合、災害時対応が難しいと思えます。南海トラフ巨大地震が発生した場合、三島市は被災エリアの東端に位置し、国の支援部隊（自衛隊など）や一般支援団体などが集結してくる所になるだろう、という話を防災専門の方から伺ったことがあります。現在の市庁舎の場所ではこの要求には応えられないと思えます（p86～）。この観点で、南二日町案の方が現実的だと考えます。 「1000年に1度の大雨の時の洪水浸水」のリスク（p55）が最大の問題点だと思えますが、「配置計画及び概算事業費」（p61～）には浸水対策が計上されていることから、浸水対策は技術的にも可能と考えられますので、洪水浸水のリスク回避はできると思えます。 （※1）機械式駐車場について、以前住んでいたマンション（東京エリア）での経験をもとにコメントします：当初マンションの駐車場は機械式駐車場でしたが、運用、保身にコストがかかり、機械の寿命で交換が必要になった時にはさらに解体、再建設費用が発生するということが、使用面では、入出庫に時間がかかり大変不便であるということから、住民合意のもと自走式2階建ての駐車場に作り替えました。市庁舎に付帯する駐車場としては、機械式は不向きだと思います。駐車場は平置きもしくは（洪水浸水のリスクヘッジを考えると）自走式複数階の方が良いと考えます。	概算事業費の算出については、国土交通省が公表している公共施設整備に係る新営予算単価の最新版を基に算出しており、これに将来の物価上昇分として年間3%を加味したものといたします。しかしながら、基本構想の策定段階においては、設計に基づいた積算によるものではなく、あくまで検討のための概算値として算出したものであることをご理解いただきたいと思っております。コストの削減については、次期計画となる基本計画や基本設計、実施設計など、様々な段階において検討を重ねてまいります。跡地の利活用については、スマートフォンなどから得られるビッグデータをもとに「まちなかの賑わいづくり」の方向性を検証するため、スマート・プランニングを候補地ごとに実施しております。シミュレーションの結果によりますと、いずれの候補地に庁舎を整備した場合においても、跡地等を公共施設よりも民間施設として活用する方が人の回遊行動が増加する傾向を確認しております。検証による傾向としては、南二日町広場に庁舎を整備するシナリオで、より数値が高く表れておりますが、新庁舎の整備地は、市民皆様の御意見を参考として、総合的な観点のもと、決定していきたいと考えております。いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。災害対策の本部については、本庁舎が手狭なため、大社町の総合防災センターに設置されますが、本部員の多くの職員が他庁舎での勤務のため、有事の際には、移動を余儀なくされ、迅速かつ、円滑な災害対応に支障があると考えております。新庁舎においては、集約することで本部機能を中枢機関内に設けることが可能と考えますが、整備する場所により、敷地面積に大きな差があることから、災害時における支援体制や自衛隊等の受援体制などにも違いが生じるものと想定をしております。市民の皆様は生命、財産を守ることが市の責務であるため、より強固な災害対策を構築する必要があると考えていることから、計画の進捗に併せ、より具体的な内容の検討を進めてまいります。	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
79	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>整備の基本方針(p40-42) DX推進への対応やスマート市役所について</p> <p>DX推進やデジタルファーストといった内容が記述されていますが、これらが、新庁舎のサイズを含めた全体デザインにどのように反映されるのか、もしくはどのように影響するのかがよくわかりませんでした。</p> <p>人口の減少を踏まえた市役所職員の適切な人数、市役所の規模や、(例えばフリーアドレス化等を含めた)フロアデザインなど、場所が北田町／南二日町のどちらになるにせよ、新庁舎のデザインの前提・条件になると思います。もう少し具体化された「絵、構想」を見せていただくことを期待します。</p> <p>DX推進は今やMUSTな施策ですが、新庁舎検討委員会 (p29) の中でも指摘されていたように、市民(市役所にとってのお客様)の中にはデジタル化に簡単に対応できない方々が少なからずいるでしょう。現時点で、特に高齢者の方々の中で、市役所に行かず行政サービスを例えばオンラインで簡単に受けることが出来る方々は大多数ではないと推測します。市庁舎が北田町にせよ南二日町にせよ、この方々がデジタル化に移行できるための支援・教育を新庁舎の構想・計画を終了するまでに、開始、もしくはトランジションプランを確立しておく必要があると思います。今回の資料では、デジタルファースト/DXへの移行・対応があげられていますが、その実施に関する説明が乏しいと思いました。</p> <p>少なくとも、世代間でのギャップはあると思いますので、それぞれの世代がデジタルファースト/DXについてどのように感じているのか、世代ごとの丁寧な意見収集・意識調査が必要ではないでしょうか。</p>	<p>新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識してまいりますが、一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルサービスの存在も意識しながら進めることとなります。</p> <p>新庁舎整備事業は、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、工事の各段階で、検討内容がより具体化してくるものがありますが、現在策定を進めている基本構想は実施に向けた一番初めの段階であり、事業背景や事業実施の条件等を把握・整理した上で、大まかな規模や機能等を検討し、実施の必要性を検証する段階ととらえています。</p> <p>今後、基本計画や基本設計などの段階で詳細に検討してまいります。</p>	今後の参考とするもの
80	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>市民の声の収集について</p> <p>(資料p17) 令和元年11月15日から令和元年11月25日まで、市民意見を把握し、庁舎の代替えに関する検討へ反映させることを目的に市民アンケートを実施されていますが、その後そのような調査は行われましたでしょうか。このような直接市民にアプローチする調査は、大きなフェーズというかマイルストーンごとに行った方がよいと思います。</p> <p>構想・計画を固めていこうとされている現在、市民の意見収集・意識調査はもっときめ細かく行い、プッシュ的に吸い上げることが必要だと思います。広報やWeb等で今回のパブリック・コメント募集はアナウンスされていますが、知らずに過ぎてしまう市民は多いと思います。例えば、市の職員が直接各自治会の集会に赴いて説明・意見の収集を行う等の積極的な意見収集が必要だと考えます。市民の多額の税金を使う重要な巨大プロジェクトに関する市民自身の認識度のアップと自覚をドライブし、「知らずに物事が決まってしまう」と思う市民がいないようにするアクションが必要だと思います。</p> <p>(資料p27～)新庁舎整備委員会が組織され、市民ワークショップを開催するなどしていますが、委員の方々、参加されている方々が市民の声を代表しているとは、必ずしも言えないと思います。</p> <p>時間と労力、コストがかかり大変かとは思いますが、宜しく願います。</p>	<p>新庁舎整備のコンセプトは、多くの市民が望むものとしております。</p> <p>今後においても市民皆様への情報提供や意見聴取などを行いながら、長期にわたり利用しやすい施設となるように検討を進めていきます。</p>	今後の参考とするもの
81	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>(南二日町を適するとする理由)</p> <p>※将来を考慮すれば、南二日町のほうがよい。</p> <p>①建設資材や人件費が上昇している状況下で、北田町よりも建設コストが抑えられる点は大きい。ただし、建物はできるだけコンパクト化</p> <p>②北田町にすると、</p> <p>ア. 敷地が狭い。立体駐車場や仮設庁舎の建設が必要となり、余分なコストがかかる。</p> <p>イ. 移動作業(書類等の箱詰め)を職員が2階しなければならないので、労力の負担がのしかかる。専門の引っ越し業者のコストも1回分余分に支払う。</p> <p>ウ. 建設中は運搬車など業者の車の出入りが頻繁になるため、大社前の道路が渋滞する</p> <p>エ. 工事中の騒音→騒音対策は大丈夫か？</p> <p>③災害(洪水による大場川氾濫)に備えるため、庁舎建物の敷地面積部分は堤防の高さを超えるよう土盛りする。</p> <p>④交通のアクセス～二日町駅に近い。コミュニティーバスも利用可。車の出入りについても支障を来すことはない。北田町のほうは、大社前の道路が交通渋滞する時あり。</p> <p>⑤中心市街地の賑わい拠点としての機能維持のため、現在地を推す人がいるが、特段の賑わいになっているとは思えない。それよりも、熱海のように観光客に人気のある街づくりを考えるべし。三島の中心商店街は魅力に乏しい。</p>	<p>庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。</p> <p>当局が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算出した数値と同等規模となっております。</p> <p>いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。</p>	今後の参考とするもの
82	「新庁舎整備に関する検討状況について」86ページの27～28行目	<p>南二日町広場の浸水対策について「1,000年に1度の最大規模における洪水浸水想定区域となっていることから、敷地のかさ上げや国道1号線への導線確保などの浸水対策を行う必要があります。」のみ記載されています。防災対策は新庁舎にとって重要な観点の1つであり、具体的な浸水対策の案を今の段階で提示いただければ候補地の比較ができないと考えます。記載されている「敷地のかさ上げ」を実施した場合は周囲の道路から庁舎への侵入経路が限られる点や、車いすでの来庁が負担になる点は議論されているのでしょうか？もう1点記載されている「国道1号線への導線確保」については、新庁舎および国道1号線の浸水が回避されても国道1号線から先の道路が浸水する可能性が高いため、県道142号(錦田小方面)や国道136号(青木方面)もかさ上げしなければ市内主要エリアから新庁舎へのアクセスが確保できない点も記載すべきと考えます。9/8の大雨により日立市役所が浸水し大きな影響が出ました。現時点での検討内容・対策案を提示していただきたいと考えます。</p>	<p>策定作業を進めている基本構想は、実施に向けた一番初めの段階で、新庁舎整備の考え方の骨格となるものとなり、市民などのニーズを踏まえながら、事業背景や事業実施の条件等を把握・整理した上で、大まかな規模や機能等を検討し、実施の必要性を検証する段階ととらえています。</p> <p>新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。</p> <p>災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。</p> <p>ご指摘の他市役所の浸水被害については、氾濫した河川の浸水想定区域図が示されていないことから、万全な対策が講じられなかったのではと認識をしています。</p> <p>三島市におきましては、既に国や静岡県等の指定を受け、浸水想定が示されていることから、事前に適切な対策を行うことで、想定し得る最大規模の洪水時においても庁舎機能が維持できるものと考えています。</p>	今後の参考とするもの
83	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>南二日町広場は災害時に仮設住宅として、利用価値があることから、南二日町広場に新庁舎を建て、グラウンドを無くすことは止めて欲しい。たとえ、高額だとしても、現在地の北田町に新庁舎を建設していただきたいと考える。</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの
84	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>・南二日町と北田町の敷地を比べると南二日町の方が4.8倍広く、今後40～50年先まで考えると、南二日町のほうが魅力的。</p> <p>・北田町の場合、引っ越し回数が多くなり、時間もお金も無駄になる。</p> <p>・北田町の場合、立体駐車場となり、お金もかかるうえ、上下移動が大変になる。</p> <p>また建物も高層となる為、上下移動が大変になる。</p> <p>・南二日町の方が広い為、カフェやコンビニ等の利便施設の複合化の自由度が増す。</p> <p>・南二日町の方が費用が安くなる為、魅力的である。</p>	<p>いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。</p>	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
85	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>30ページの16行目から19行目までについて 大企業の移転とあるが南二日町までの距離はグーグルマップによれば、徒歩で13分、車ではわずか4分となっており、18ページにある交通手段では車、バイク、自転車での来庁が約85%で、利用者から見れば移転を問題にする距離ではない。電車でも1駅、駅からの距離は殆ど同じである。</p> <p>30ページの20行目から22行目までについて 北田町周辺の商店街は中心地に市役所があるから発展したとあるが、18ページの市役所を訪れる頻度を見ると数ヶ月に1回以下の人が90%以上であり、市役所を訪れる人が商店街を潤しているとは思えない。市役所駐車場を無料の駐車場として商店街に買い物に行く人がいるかもしれないが、それは基本的にNG。</p> <p>31ページの15行目について 駐車場については1階を全て駐車場にすれば浸水対策の嵩上げも不要になるのでは。</p> <p>65ページの移行のライフサイクルコストについて 北田町と南二日町では庁舎施設、立体駐車場を合わせると、50億円以上の差がある。建設費はほぼ借金であると思うのでその金利差も大きなものになると思われる。これだけの費用はもっと別の事業、施策に充てるべきであると思う。</p> <p>以上から南二日町に移転すべきと考えます。</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの
86	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>新庁舎に行かなくて用が完了する新庁舎を希望。 職員と駐車場を減した計画で最小限の経費での施設規模が望ましい。 総合的に判断すると南二日町広場が望ましい。</p>	<p>将来的には、DX技術の進展などにより、行かなくて良い市役所が可能になることも考えられますが、新庁舎整備のタイミングでは、実現が難しいものと考えています。 現段階においては、庁舎と出先機関をネットワークでつなぎ、最寄りの施設から様々な手続きが可能になるような検討をしております。 新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識して進めていきますが、一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。</p>	今後の参考とするもの
87	「新庁舎整備に関する検討状況について」27ページ	<p>新庁舎整備検討委員会に庁舎建築の専門建築士の招聘をしないのか？21世紀の三島に向けた日本一の景観、水、歴史ある町をアピールできる建築士を入れるべきではないか？人数も10名じゃ少く大規模プロジェクトでは意見の公平性から幅広い知識人20名にすべきと考えるが如何でしょうか？設計コンペで具体的に決めたらどうか？</p>	<p>他自治体での整備事例をもとに委員構成や人数を決めています。委員には建築士も含まれているほか、他自治体においての実績をお持ちの方も複数おられます。 発注方式については、今後、基本計画、基本設計、実施設計、工事の各段階で有効な発注方法を検討してまいります。</p>	その他(質問など)
88	「新庁舎整備に関する検討状況について」29ページ	<p>三島市全体の中期(5年)、長期(10年)の財政方針、財政計画についてインフレが心配されるが折り込み済みか？検討段階では比較だけで考えないのか？トータルコスト大幅に増額は織り込み済みか？</p>	<p>長期にわたる財政計画については、令和4年5月に策定した長期財政計画がありますので、そちらをご参考にさせていただきたいと思っております。お手数ですが市のホームページよりご確認をお願いします。 概算事業費の算出については、国土交通省が公表している公共施設整備に係る新営予算単価の最新版を基に算出しており、これに将来の物価上昇分として年間3%を加味したものといたします。</p>	その他(質問など)
89	「新庁舎整備に関する検討状況について」47ページ	<p>人口の減少傾向が予測されているが三島市としては全国発信の夢ある日本一の三島を目指すアピールする強力な施策ないのか？</p>	<p>人口減少を踏まえた施策については、第5次三島市総合計画や、三島市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定していますので、そちらをご参考にさせていただきたいと思っております。お手数ですが市のホームページよりご確認をお願いします。</p>	その他(質問など)
90	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>P4～5 北田町(現在地)と南二日町広場の比較検討から新庁舎は、南二日町広場に移転すべきである。 理由 ①配置計画イメージ ・駐車が平置きとなりランニングコストが低減できる。 ・仮設庁舎が不要でコストが掛からない。 ・工事期間中の近隣迷惑と交通渋滞が少ない。 ・引越しが一度で済み職員や市民の混乱が少なく経費が掛からない。 ・中層で館内が一望でき市民の利用が移動せず一カ所で済む。 ・国道1号線とのアクセスが可能であり将来の再開発に夢と期待あり。 ・夢が広がる歴史的遺産(寺、神社、遺跡)観光商業発展の拠点となり門前町としての発展に夢が膨らむ。 ・将来の政令指定都市としての拠点も考慮すべきであろう。 ・町中分散用地は、駐車場、タワーマンション、シンボルタワー等民間投資に委ね街中発展に寄与する。 ・市役所業務が3回停止し、業務混乱と損失が起き市民がパニックになる懸念がある。南二日町なら引越し一回済みロスが少ない。 ②費用 ・北田町(現在地)よりも南二日町広場の建設費が10～24億円少ない ・ライフサイクルコストが北田町よりも49～87億円少なく済み市民負担が軽減できる。 ③防災 ・国道1号線隣接であり、派遣も迅速に対応でき東部拠点として可能。支援物資等の緊急支援基地として各団体との連携が可能 ④将来像 ・源頼朝の源氏再興の歴史ある三島鎌倉古道・遺跡、富士山の恵みの命水、街中せせらぎと三島梅花藻、日本一の借景スカイウォークと左右稜線の伸びた日本一の富士山、水の都名水、歴史と芸術が融和する街、全国に協力発信アピールの基地として南二日町は国道から見える世界に発信可能な場所を使うべきである。 ⑤未来像 南二日町市庁舎移転による未来像 ・門前町の復活 観光客滞在型にシフト計画 ・YG会社、MS会社の移転 再開発計画 野球場 サッカー場 イベント広場等多目的広場として未来の夢が広がる。 ・政令指定都市としての新幹線三島駅拠点に考慮 三島市、沼津市、裾野市、長泉町、函南町、伊豆の国市他歴史の街未来志向 ・観光 富士山借景 三島からの富士山、デュボイスト、名水巡り、社寺巡り</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの
91	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>建設地をどちらにすべきかの最終決定は市民参加による各町内会自治会等の意向投票で決定すべきである。</p>	<p>新庁舎整備のコンセプトは、多くの市民が望むものとしております。 今後においても市民皆様への情報提供や意見聴取などを行いながら、長期にわたり利用しやすい施設となるように検討を進めていきます。</p>	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
92	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>賛成→すえおきで建て替えをする 現在地 北田町 工事期間のみについて 空いている土地や建物を利用して仮設をすれば良い 南二日町広場で仮設に借りれば、3年間だけ連絡バスの運行ができる →交通上かみあわない地域は連絡バスが必要になる 別館について 今まで通りにできる 完成をすれば、今まで通りにできる。仮設でも3年間がまんをする以外はこれでも良い。 バリアフリーの設備が付いていて安全性のある市役所であれば高層は可能である。 南二日町広場→反対 南二日町駅から直ぐ近くのは良いけど、バスでのアクセスの交通がかみあわないから。 その分、交通がかみあわない地域から連絡バスが必要で、ばくだいな税金がかかってしまう。 →コミュニティバスの運行が続けられなくなってしまう！！ きたうえ、富士急バス、なかざと、花のまち号など三島駅発着のバスは、二日町駅まで伊豆箱根鉄道で行く手間がかかる。 ・谷田バス停や行沢バス停は玉沢行きのみしかない。 ・他の路線バスは交通上では、下田街道を通らないからかみあわないから。 ・ふれあい号も交通上かみあわない スポーツや広い場所のできるような野球ができるのができなくなる。</p>	<p>いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。 また、コミュニティバスについては、市の施設がある場所は原則として運行をしていることから、南二日町広場が整備地となった際には、ルートの見直しにより、運行することになると考えております。</p>	今後の参考とするもの
93	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>現在地(北田町)の方を希望致します。 理由 三島の歴史をさかのぼってみてもずっと三島の中心部に存在し行政の最重要な場所である市役所が南二日町に移されることは考えられません。主要産業の観光の面からも観光地が周囲に存在し新幹線が止まる三島駅からの交通の便もよく、これ程そろった場所はありません。建設費用が南二日町よりかかるとのことですが、三島の将来を考えた時、やむを得ないことだと思います。市の将来の発展の為、現在地に決めて下さい。</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。 いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。</p>	今後の参考とするもの
94	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>現在地(北田町)の方を希望致します。 理由 三島の歴史をさかのぼってみてもずっと三島の中心部に存在し行政の最重要な場所である市役所が南二日町に移されることは考えられません。主要産業の観光の面からも観光地が周囲に存在し新幹線が止まる三島駅からの交通の便もよく、これ程そろった場所はありません。建設費用が南二日町よりかかるとのことですが、三島の将来を考えた時、やむを得ないことだと思います。市の将来の発展の為、現在地に決めて下さい。</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。 いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。</p>	今後の参考とするもの
95	「新庁舎整備に関する検討状況について」19ページ	<p>「5 市議会報告会における市民からの要望」の中にある 「(3)高齢者障がい者にとっても使いやすい、ユニバーサルデザインの採用」について、完成した後で不具合、不都合が出ないように、一つの福祉団体の意見だけでなく複数の当事者団体からの意見を聞くべき。(p27の基本構想、市民ワークショップには福祉団体として1つの団体しか上がっていない) さらには、計画設計の段階から複数の当事者団体の図面チェックや意見聴取の場を設けるなど、多様性の観点からも必須。 また、現庁舎では議会の傍聴には車いすでは行くことができない。議場のバリアフリー化も必須である。 障害のある議員も支障なく活動が遂行できるようにするべき。市職員の執務スペースもバリアフリー化、誰もが問題なく働ける環境を整備することも必要。</p>	<p>すべての利用者にとって利用しやすい施設となるように、計画の進捗に併せ、意見徴収なども行い、バリアフリー化の検討を進めてまいります。 検討時期については、基本構想にて整備地が選定された後、次期計画以降となる基本計画や基本設計の策定段階になるものと考えております。</p>	今後の参考とするもの
96	「新庁舎整備に関する検討状況について」86ページ	<p>p86 浸水対策 かさあげについて 南二日町の場合、浸水対策によるかさあげが必要になる場合、歩道から敷地建物へのアプローチが車いすやベビーカー、歩行に困難を抱えた人などが問題なく、誰もが同じルートでアクセスできるようにする。また、南二日町の場合、最寄り駅になる「伊豆箱根鉄道南二日町駅」も整備が必要になる。 現状、駅のホームに上がり降りする際に、車いすユーザーが利用しているスロープは傾斜がきつ、特に降りる時は、壁がすぐ前があるので恐怖を感じている。さらには、無人駅の問題もあり交通アクセスの良さも考えるべき。次世代に受け継がれる、恥ずかしくない市庁舎なることを望んでいる。</p>	<p>南二日町広場に庁舎を整備した際のかさ上げ部分に伴う利用者のアプローチについては、すべての利用者にとって不便とならないように検討を重ねていきます。 建設地が南二日町広場となった場合には、伊豆箱根鉄道との協議を行い、誰もが利用しやすい施設となるよう取り組んでいきます。</p>	今後の参考とするもの
97	「新庁舎整備に関する検討状況について」7～8ページ	<p>1、p.7～p.8 の東地区コミュニティ防災センター、西地区コミュニティ防災センター、南地区コミュニティ防災センター、北地区コミュニティ防災センターの4か所は防災備蓄品倉庫としての役割が主なようです。それぞれの地区が避難する西小、南小、北小、東小が災害時の避難所になり、現在子どもの数も減っているため空き教室があるので、そこに防災備蓄品の倉庫に使用すればよい、また、防災備蓄品は分散してある方がよいのでp.46にある新庁舎の面積は要らないと思われます。</p>	<p>各地区のコミュニティ防災センターの防災倉庫については、災害時において、市が被災地へ配布する備蓄品を保管しており、各避難所に用意している防災備蓄品とは別のものであり、1箇所に集約するほうが管理上も合理的なため、新庁舎が整備された際には、複合化する計画としています。 学校施設は、空き教室等を活用して、コミュニティ防災センターのコミュニティ機能などを複合化することで、地域の活動や繋がりの活性化を図っていくこととしております。</p>	反映できないもの
98	「新庁舎整備に関する検討状況について」47ページ	<p>2、p.47 の保健センター770㎡、高齢者生きがいセンター100㎡は新庁舎に含める必要がないと考えられます。保健センターで行われている3か月検診、3歳児検診など検診業務は免疫力が未熟な小児を混み合う市役所に集めるのは好ましくありません。高齢者にとっても同じで、それぞれの窓口業務のみ市役所で行えば良いし、障害を持つ子どもを検診に連れて行くのも気が引ける親に、不特定多数の人が出入りする市役所という場所にはもっと気後れして行けなくなります。</p>	<p>建物系の公共施設については、公共建築物長寿命化指針により、目標使用年数を一般施設で60年としておりますが、長期にわたり使用を継続する施設においては、長寿命化改修工事などを実施することで、目標使用年数を80年にすると定めております。 築年数を経過した施設においては、目標使用年数の残存期間、施設を利用する間のコスト面での検証、施設の利便性や施設更新に関する建替え費用なども考慮する必要があります。 統合や複合化を計画している各施設においては、築年数が50年以上経過しているものも多く含まれており、使い続ける場合には、早急に大規模改修工事等を行わなければならない時期になっております。 また、複合化を計画している各施設での業務は、庁舎機能との関連性が高く、施設の利便性の観点から庁舎に近い立地を望む声も多くいただいております。 このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討をしていただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。 コスト面や利便性などを十分に踏まえた上で、可能な限り統合や複合化を推進してまいります。 なお、施設の利用に配慮が必要な方に対しては、導線の工夫やユニバーサルデザインなどを取り入れるなどの検討を進めていきます。</p>	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
99	「新庁舎整備に関する検討状況について」12ページ	3、p.12 に人口減少等を想定したコンパクトな規模、p22～p.23サテライト市役所とあります。現在市役所に勤務している市職員の方のかなりの人数が公民館で勤務することになると思うので、p.44にある執務面積は少なくても良いと思われま。コンパクトな市役所にして、窓口は大きくすべての課に通じるようにしてほしいというのが市民の要望です。	「サテライト市役所」とは、庁舎と出先機関をネットワークでつなぎ、最寄りの施設から様々な手続きが可能になるような検討しております。そのため、公民館に多くの職員を配置することは想定をしておりません。新庁舎については、利便性の高い1階部分の床面積をどれだけ確保できるかが課題と捉えておりますが、市民の皆様にとって利用しやすい施設となるよう検討を重ねていきます。	今後の参考とするもの
100	「新庁舎整備に関する検討状況について」47ページ	4、p.47表6-4の表、職員数を人口1万あたり63.64人必要ということだと思いますが、兵庫県豊岡市は面積が697.55km ² 、茨城県牛久市は58.92km ² 、三島市は62.13km ² なので、福岡県宗像市でも42.4人なので三島市の職員数は40人ぐらいでよいのではと思います。したがってp.46よりコンパクトにできるはずですが。	資料P47に記載の表6-4については、三島市の将来人口推計値から、西暦2065年における職員数を推測するために用いたものであり、行政区域名積から職員数を予想したものではありません。庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093m ² となりますが、いずれの候補地においてもペーパーパレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234m ² で計画を進めています。当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同規模となっております。このため、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、利用者が不便とならない配慮が必要と考えております。	反映できないもの
101	「新庁舎整備に関する検討状況について」17ページ	5、p.17の駐車場問題ですが、現在、西館の横の駐車場が利用しにくいと思います。あることを知らない人もいます。しかし、p50の表7-3市役所来庁が数か月の1回程度がほとんど(90%)であり、北田町の170台で十分と思います。私は以前に民生委員をしていたので月に2～3回市役所に行っていました。マイナンバー申請の時ですら混んでいたことがあっても駐車場に入れなかったことは1度もないです。	新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体がいっている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があると思っております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。本庁舎駐車場における混雑の状況について、9月7日から12月12日までの開庁日数65日間の満車の回数や時間を集計したところ、延べ33回で計17時間40分の間で満車となっておりますので、幾度となく駐車台数が不足した状況の確認をしております。	反映できないもの
102	「新庁舎整備に関する検討状況について」62～64ページ	6、p62、p63、p64の新庁舎北田町案と二日町案を比較しました。北田町案の問題点は、①仮庁舎、②駐車場この2点のために費用が掛かることです。①に対しては、生涯学習センターを使う、生涯学習センターの現在使われていない地下駐車場も利用する。生涯学習センターでやっている教室は、市民文化会館の会議室を使用し、②の駐車場に関しては5で説明している理由で平地に170台ぐらいでよいと思われま。したがって北田町の問題は解決できます。	北田町(現在地)が整備地となった際には、建替え期間中において、庁舎機能の一部を生涯学習センターなどへ仮移転する検討が必要と考えておりますが、整備地が未定の現段階では、詳細な検討は行っておりません。整備地が定まり次第、検討を進めていきます。新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体がいっている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があると思っております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。	今後の参考とするもの
103	「新庁舎整備に関する検討状況について」64ページ	7、p64、二日町の問題点は、①水害対策、②道路問題、③借地問題、3点とも問題の解決が難しいと思われま。①に対しては最近全国的に1000年に1度の災害に対して色々大規模な治水地を作っていますが、それでも東京都は2023年9月15日の大雨で内水氾濫が起きて新宿駅などが水浸しになった様子です。そのため現在三島市で提案している盛り土では不十分で、さらに相当大がかりな浸水対策が必要になります。この際大がかりな浸水対策をして下流に位置する中島地区、大場地区、藤代町を水害から守る安心なまちづくりにするのとも良いかと思いますが、その莫大なお金を三島市が捻出できるか問題です。②の道路問題はp93にあるように国道1号からの乗り入れが道路管理者と協議が必要と書いてあり、不確実要素が多いとも書いてあります。国道からの乗り入れも確定でなく、二日町のグラウンド前の道路は狭く、道路を拡張してから新庁舎建設をやる必要があります。私は仕事で毎日箱根に行っていますが、二日町交差点から谷田交差点までいつでも混雑しています。その中間点に市役所が出来たら交通の流れは今より悪くなってしまいます。二日町交差点は今でも立体交差点で事故も多く危険なので、国道への乗り入れがスムーズにいかなく、予算がさらにかかると思われま。三島市はまだ建設中の道路がかなりあり、さらなる道路問題を生み出すと思われま。	新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。南二日町広場の現配置計画における概算事業費については、敷地とした範囲をかさ上げすることや緊急時の際の国道一号线への乗り入れを考慮して、浸水対策費として計上しています。南二日町広場がある大場川右岸側については、想定し得る最大規模の降雨により、溢水した場合の浸水を想定しておりますが、想定範囲は市内南部を中心に広域にわたっていることから、新庁舎整備の盛り土の影響による周辺地域への水位上昇の可能性はごくわずかと考えております。交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。南二日町広場の敷地の大部分は市有地のため、配置などを工夫することによって、庁舎敷地を借地部分から除くことは可能と考えております。	今後の参考とするもの
104	「新庁舎整備に関する検討状況について」86ページ	8、p.86北田町高層建設になり防災時にライフラインが途絶えた際に、建物上層部の継続使用が困難になる場合があると思われま。現在案として出ているのは8階建ての建物で、そこまで防災上の問題があるのか疑問です。そうなりますと、三島駅南口にできる24階建てビルは防災上さらに大問題となり、そのような建物が駅前にあること自体そもそも疑問ではないでしょうか。	北田町(現在地)の敷地を有効活用する場合には、建物の高層化が考えられますが、この場合、低層部分の床面積が手狭になることが懸念されます。低層階の床面積が小さくなることは、来庁者の利便性や事務の効率化に影響があるほか、大規模災害時等に必要となる活動拠点等を低層階に配置することが難しくなること、また、上層部への配置は、災害対応に支障をきたす恐れがあることから、一部は別施設に配置することも考えられます。なお、市庁舎は災害時には様々な活動の拠点となるため、民間の施設に求められている災害時の機能とは異なります。	その他(質問など)

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
105	「新庁舎整備に関する検討状況について」	9.南二日町は洪水浸水地域だからかさ上げて対策をするとのことです。その例として兵庫県高砂市を挙げていますが、高砂市はハザードマップで確認したところ地域全体が同じ高さで低い土地に思われます。三島市のように二日町に隣接する藤代町や中地区が低い土地なのに、二日町の高い土地をかさ上げしたら低い土地の藤代町や中地区の浸水をひどくするのはないかと思われます。仮に市役所自体は水没しなくても周りの道路冠水で市役所にたどり着けない状態になります。	南二日町広場がある大場川右岸側については、想定し得る最大規模の降雨により、溢水した場合の浸水を想定しており、想定範囲は市内南部を中心に広域にわたっていることから、新庁舎整備の盛り土の影響による周辺地域への水位上昇の可能性はごくわずかと考えております。 新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。 災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。	その他(質問など)
106	「新庁舎整備に関する検討状況について」66ページの6～8行目	新庁舎の建設地は、コスト面・跡地の利活用・災害時の拠点機能などの観点から、南二日町広場が良いと考えます。グラウンドの移転が必要だと思うが、検討資料5案ベースにすることで人工芝グラウンドを残すことが可能であり、土のグラウンドは既に市内に数か所ある為、こちらを活用することで負担が減るのではと思います。	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。 南二日町広場が整備地となった際には、参考とさせていただきます。	今後の参考とするもの
107	「新庁舎整備に関する検討状況について」61ページの2行目	北田町(現在地)での建て替えには仮設庁舎が必須とあるが、数年使用するだけの物で無駄であるため、避けていただきたいです。新聞記事で、議員が北田町を選択しているのを見たが、普通に考えて、このような選択をしていることが個人的に信じられません。議員個人の私情や支援者の声だけで、全三島市民の庁舎を決めてほしくないです。もっと公平な判断をしてもらえることを願います。	北田町(現在地)の配置計画としてお示している4案は、いずれも仮設庁舎を設ける必要があります。旧庁舎の一部を工事中に利用する配置計画①から③の場合、仮設庁舎の規模は875㎡から2,522㎡となりますが、工事期間中の駐車場不足を補う臨時駐車場が別途必要となります。配置計画④の場合、本庁舎をすべて仮設とする必要があり、その面積は7,130㎡となります。北田町(現在地)での建て替えとなった際には、仮設庁舎は、避けては通れないと考えております。いずれの候補地においても、解決すべき課題はありますが、いくつかの候補地の中から選び抜いた敷地であることから、市民の皆様からの御意見・御要望を十分に踏まえた上で、様々な観点から検証を重ねることにより、整備地を選定していくことが重要と考えております。	今後の参考とするもの
108	「新庁舎整備に関する検討状況について」52ページの4行目	駐車場台数が240台で検討していくとあるが、長期的に考えれば減少していくと思うが、新庁舎が完成する頃にはまだ自家用車を利用しての来庁者は依然多いと思います。保健センターを子供の検診で利用する際も駐車場が足りず、臨時駐車場が用意されているのに、複合化により他の施設が集約されるならば、尚更240台では足りないと思います。また、施設の可変性とあるが、コミュニティスペースとして今後活用してくなら、来庁者は減っても利用者がいるならば、駐車場台数は減らないのではないかと思います。	新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体がいっている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。 駐車場台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車場台数が223台ですので、17台分を増やしたものとありますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があると思定をしております。 北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。 より具体的な検討については、基本構想にて整備地が選定された後、基本計画や基本設計の策定段階で進めていく予定としております。	今後の参考とするもの
109	「新庁舎整備に関する検討状況について」61ページの下段より5行目以降	南二日町の浸水対策について、浸水対策とあるだけでこの詳細は不明。水害発生時には市庁舎のみが孤立する恐れが極めて高い。これを防ぐには周辺の主アクセス道路となる旧下田街道はじめ大がかりな整備が必要となるはずであるがこの考慮はない。このためには莫大な費用が発生する。国道1号線へのアクセスも検討されているようであるが現用の南二日町東IC以外の接続はほぼ無理であり、近接する警察署横の交差点と合わせて大幅な渋滞を増大させることが予期される。南二日町案は中心繁華街を寂れさせる一因になる。すでに中央町付近でも空き地の増加が目立ち始めている。	新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。 災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。 交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。	今後の参考とするもの
110	「新庁舎整備に関する検討状況について」39ページの1～5行目	庁舎機能の集約化 一か所に集中させることの必要性が定量的に全く論議されていない。 一か所に集中させればさせたことによる問題も災害時は発生することの検討はなされていないことに問題がある。 この項に“DXを進めて……コンパクトな施設を目指す。”とありますが次の6章での施設規模においてこれまで述べた各種理念は全く反映されていない。特に特別職の執務面積が3人で100畳敷きを超える面積であり、現在の世の中の流れとの差異に愕然とするものがある。コンパクトという言葉はどこに行ったのか。昭和のオフィス設計以外のなにものでもない。 この概念を変更しない限り市民から愛される市役所作りは無理である。	将来に予想されている人口減少社会の対策として、公共施設等総合管理計画や公共施設保全計画などを策定しており、全庁的な取り組みを実施しています。 建物系の公共施設については、公共建築物長寿命化指針により、目標使用年数を一般施設で60年としておりますが、長期にわたり使用を継続する施設においては、長寿命化改修工事などを実施することで、目標使用年数を80年にすると定めております。 築年数を経過した施設においては、目標使用年数の残存期間、施設を利用する間のコスト面での検証、施設の利便性や施設更新に関する建替え費用なども考慮する必要があります。 統合や複合化を計画している各施設においては、築年数が50年以上経過しているものも多く含まれており、使い続ける場合には、早急に大規模改修工事等を行わなければならない時期になっております。 また、複合化を計画している各施設での業務は、庁舎機能との関連性が高く、施設の利便性の観点から庁舎に近い立地を望む声も多くいただいております。 このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討していただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。 コスト面や利便性などを十分に踏まえた上で、可能な限り統合や複合化を推進してまいります。 ご指摘の表6-1から6-3については、当市が計画している延床面積と比較するために用いた表であり、現計画がよりコンパクトな規模になっていることが確認できるものと考えます。	反映できないもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
111	「新庁舎整備に関する検討状況について」44 ページの1～6行目	<p>市庁舎建屋規模の算定に人口ビジョンベースや人口推計ベースの値もとに算定しただけで5章で喧伝している三島市のあるべき姿は一切反映されていないことが残念である。特にコストを下げる工夫は全編において一切の記述がない。このことも極めて残念である。駐車場のコスト負担を喧伝して南二日町の優位性をアピールしようとしているが、駐車場が問題となるの極めて短期間であり、将来にわたって問題にすべき事項ではない。</p> <p>駐車場のスペースの現在から将来に渡り凡そ半分が市使用車であると言う事を忘れてはならない。</p> <p>この駐車については現時点では全く工夫がみられない。52ページに将来の可変性に対応できるように検討すると言う事であれば、北田町のケースでは駐車場の設置が不可避であるという表現はやめるべき。この不利さだけを訴えるべきである。</p>	<p>新庁舎については、長期間の利用を見据えて、コスト面を意識して計画してまいります。また、来庁者の利便性の向上や事務の効率化、円滑な災害対応が求められており、これらを踏まえた上で、DX技術を積極的に活用するなどして、よりコンパクトな施設を目指してまいります。</p> <p>概算事業費の算出については、国土交通省が公表している公共施設整備に係る新宮予算単価の最新版を基に算出してあり、これに将来の物価上昇分として年間3%を加味したものとします。</p> <p>しかしながら、基本構想の策定段階においては、設計に基づいた積算によるものではなく、あくまで検討のための概算値として算出したものであることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>コストの削減については、次期計画となる基本計画や基本設計、実施設計など、様々な段階において検討を重ねてまいります。</p> <p>新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体がいっている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。</p> <p>駐車台数の目安としての240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものとしますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性がある想定をしております。</p> <p>北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台分以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。立体駐車場については、事業費並びにライフサイクルコスト、利便性の観点から、出来る限り避けたいと考えていますが、北田町(現在地)においては、敷地面積が約7,000㎡のため、平面駐車場のみで整備をしようとした場合、通路部分を含めて6,000㎡(240台×25㎡)の駐車場敷地が必要となります。</p> <p>単純計算とはなりますが、残り約1,000㎡の部分に13,234㎡の新庁舎を建設しようすると、新庁舎の建物は13階建て以上になってしまいます。</p> <p>現在の庁舎の1階床面積が約2,100㎡ですので、新庁舎の1階部分は半分以下になってしまうことから、利用者の利便性を考慮すると立体駐車場が必要であると考えています。</p>	今後の参考とするもの
112	「新庁舎整備に関する検討状況について」54 ページの1～100行目	<p>南二日町には反対です。</p> <p>日立市役所の新庁舎のこともあり、川のそばは不安です。</p> <p>想像を超える雨が降ることが頻繁に起きている。</p> <p>国道は朝の通勤時間帯は渋滞が発生している。職員の通勤でさらに車が増えるのではないかと心配です。</p> <p>マイナンバーカードの申請を見て市役所に行かないと申請ができない方が多い。現在の場所の方が行きやすい。</p>	<p>洪水浸水想定区域(想定最大規模)については、千年に1度の確率と称される「想定し得る最大規模の降雨」によって河川が氾濫し、浸水した場合における円滑かつ迅速な避難の確保を目的に定められており、狩野川水系の大場川流域については、48時間で総雨量844mmの降雨があった場合において、概ね100mから200mごとに河川が破堤や越水、溢水した状況を浸水解析し、最悪のケースを想定したもので、南二日町広場における浸水深は1.4m程度となっています。</p> <p>新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。</p> <p>災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。</p> <p>ご指摘の他市役所の浸水被害については、氾濫した河川の浸水想定区域図が示されていないことから、万全な対策が講じられなかったのではと認識をしています。</p> <p>三島市におきましては、既に国や静岡県等の指定を受け、浸水想定が示されていることから、事前に適切な対策を行うことで、想定し得る最大規模の洪水時においても庁舎機能が維持できるものと考えています。</p> <p>交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。</p>	今後の参考とするもの
113	「新庁舎整備に関する検討状況について」7 ページの図1-2 複合化を検討する施設	<p>複合化を検討する施設とあるが、統合すべきでない、西地区コミュニティ防災センター、東地区コミュニティ防災センター、南地区コミュニティ防災センター、北地区コミュニティ防災センターが含まれており基だ遺憾である。各地区の防災備蓄の保管場所や災害時の防災拠点となるコミュニティ防災センターは複合化を検討することは市民の生命を守る事を第一義とすべき市役所では許されない蛮行である。市民の犠牲は市役所は感知しないという人命軽視の姿勢が透けて見える不愉快な計画と言わざるを得ない。</p> <p>社会福祉会館については本来、三島市社会福祉協議会の責任において別の建物とすべき、市役所の中に別の団体が入るという事自体、腐敗の温床となり極めて不適切な運用である。</p> <p>高齢者生きがいセンターを統合する意味も必要性も感じられない。古いというのなら、それこそ平屋の建物を今あるところに建て替えた方が市役所の中に統合するよりもコストが安くなると考えられる。立て替えている最中は既存の市の建物や民間の建物を賃借すれば良く、なんでもかんでも複合化すれば良いと考えるのは良いと思えない。</p> <p>保険センターも窓口があるといえど、必ず統合しなければならないという緊急性を感じられない。建設費100億円を超えるような中で緊急性の無い統合は絶対に避けるべき。</p> <p>電算センターについても統合した方が安いとか否か再度検討すべきで、クラウドコンピューティングがこれだけ発達している世の中で、本当に数億円の税金を使ってまで本庁舎に統合すべきか検討すべき。</p> <p>市民アンケートで統合、複合化すべきという意見から図1-2複合化をけんとうする施設を挙げたのかもしれないが、多額の税金を使ってまで複合化すべきという市民がどれほどいるか、もう一度良く考えてほしい。</p>	<p>社会福祉会館、高齢者生きがいセンター、保健センター、電算センター、各地区のコミュニティ防災センターの建物については、三島市が所有する施設であり、これらを統合することで利用者の利便性が向上するものと考えております。</p> <p>各施設で行う業務においては、庁舎機能との関連性が高く、利用者からは庁舎に近い立地を望む声や市議会からは統合すべきとの提言を受けていることから、複合化する計画としています。</p> <p>各地区のコミュニティ防災センターの防災倉庫については、災害時において、市が被災地へ配布する備蓄品を保管しており、各避難所に用意している防災備蓄品とは別のものであり、1箇所に集約するほうが管理上も合理的なため、新庁舎が整備された際には、複合化する計画としています。</p> <p>これらのことから、コストや利便性を踏まえて、可能な限り複合化していくこととしております。</p>	反映できないもの
114	「新庁舎整備に関する検討状況について」42 ページの(6) 跡地等の有効活用	<p>分散化した施設の跡地を利活用するとはあるが、人口減少が見込まれる中、商業的利用・工業的利用が見込まれると思われぬ。サウンディング型の市場調査を行っても、税金をいかに捻め取るかしか考えていないタックスイーターの事業者に聞いても税金が無駄に使われるだけである。</p> <p>文中にあるスマートプランニングは誰が行うのか、行政が都市開発の「スマートプランニング」など行っても、典型的な「政府・自治体の失敗事例」になるだけで良いものが生まれた試しが無い。業者が行えば自分の利益だけを考えた「スマートプランニング」となり、廃墟が量産されるだけである。</p> <p>よって分散化した建物は極力活用し、新本庁舎の床面積を極力削減し、建設費用を限界まで削減するべきである。</p>	<p>現在の庁舎施設については、庁舎機能が本庁舎、中央町別館、大社町別館の3カ所に分散されていることで、来庁者の利便性や事務の効率化、円滑な災害対応などに支障があると考えております。</p> <p>市民アンケートにおいても集約化を望む声が多かったことから、1箇所に統合することで検討を進めています。</p> <p>仮に、各施設を長期にわたり継続使用をすることとした場合、それぞれの施設において、大規模改修の費用や施設更新のための建て替え費用、築年数に応じた維持管理費などが必要になってくることから、老朽化が進行している施設においては、統廃合や複合化を進めることで、総量の最適化が図れることから、本市が置かれている現状においては、最善の手法であると捉えております。</p> <p>このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討していただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。</p> <p>庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパーパルス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。</p>	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
115	「新庁舎整備に関する検討状況について」90 ページの(5)まちづくりの観点をふまえた跡地等の有効活用	文中に、検証の結果、中央町別館、大社町別館、社会福祉会館の跡地を住宅施設、商業施設、観光施設を配置すると回遊行動が増加するとあるが、これは全ての施設がフル稼働(住宅施設においては満室、商業施設・観光施設については利用率が100%を超える等)する前提のあり得ない検証結果であり、人口減少が見込まれ、市民税・固定資産税の減税等の経済促進策を行わないままでは想定通りの経済効果など絶対に生まれない。 三島市の財政が厳しい今、減税等の経済促進策を行うのは、現実的でなく、今ある土地建物は極力活用し市庁舎の建て替え費用は極限まで下げるべきである。中央町別館及び大社町別館の中に部署等はそのまま残し、今回の新庁舎建て替えの検討から除外して再度検討する方が、新庁舎の肥大化を抑える事ができると考えられる。	スマート・プランニングにおける跡地の活用方法については、あくまで活用用途の方向性を検証しています。具体的な活用方法や用途については、基本構想にて整備地が選定された後、基本計画や基本設計の策定段階で別途検討を進めていくこととしています。 今回のスマート・プランニングの比較では、用途ごとに容積率の範囲で可能となる延べ床面積を最大にした規模を想定しておりますが、利用率については、周辺と同規模の施設の利用状況などの数値を用いて算定しております。 現庁舎においては、一定の耐震性能は確保しているものの老朽化が進み毎年多額の維持管理費用が必要となっていることや、スペース不足、庁舎機能の分散などによる課題を解決するため、新庁舎の整備が必要と考えています。 なお、市議会にて設置された「市議会公共施設等マネジメント検討特別委員会」や、学識経験者や関係機関及び関係団体にて組織された「公共施設マネジメント検討委員会」からも同様の提言を受けております。	反映できないもの
116	「新庁舎整備に関する検討状況について」90 ページの表14-3 利便施設の規模と導入余地	市政・観光の情報コーナーを市役所の中に入れる施設としているが、主な対象の観光客が市役所の中に入ってまで確認すると思えない。 駅の近くや目立つ観光施設の近く等観光客が立ち入るであろう場所に立地させるべき。市役所の中に作るのなら市政の情報コーナーと観光の情報コーナーは、目的が全く違うので統合運用すべきでない。観光客を相手にするので、市民への情報公開は蔑ろにしますと言わんばかりの運用方法で非常に遺憾である。 カフェ・レストランを市役所の中に入れる必要など無い。南二日町広場にする場合は周りに何も無いため必要になるが、北田町(現在地)であれば内部にあえて作る必要もなく、広小路から大社までの商店街を利用すれば良いだけの話である。同じ理由でコンビニも不要である。 市民活動センターも統合する必要はなく、現況の本庁タワー4階で十分と思われる。中央町別館を残置すれば、三島中央郵便局も移転する必要はない。 法務局出張所についても沼津にあるのに三島に出張所を作る必要を感じられない。 道の駅については検討すること自体論外で税金のムダ遣いの極致である。	ご指摘の内容については、第14章に記載しておりますが、表14-3においては、利便性施設に利用できる延べ床面積の目安を示したものであり、現段階において想定される施設を記載したものととなります。 利便性施設については、候補地の敷地規模などが異なることから、整備地が定まった段階から検討を進めることとなります。	今後の参考とするもの
117	「新庁舎整備に関する検討状況について」63 ページの表10-4 配置計画④ 北田町(現在地)	本庁舎相当の仮庁舎が7,130平米であるのに、本庁舎が13,234平米、本当にいるとは思えない。これは他の配置計画も同様。 仮庁舎建設費が11億6,109万4千円とあるが、本庁舎相当の7,130平米の仮庁舎を作る必要があるのか再検討すべき。大半の職員は事務しかしていないように思われ、リモート勤務でも問題が無いように思われる。既存の公共施設の活用や民間の施設(レンタルオフィス)だけで無く商店街の空き店舗の活用など既存の概念にとらわれない運用を含む)の賃貸などを利用し、極力仮庁舎を建設しないように考慮すべき。22ページに記載のあるサテライト市役所の考え方を拡大し、文化プラザはもちろんのこと、公民館や集会所、小中学校の空き教室など活用できる建物は極力活用し、公民館、集会所についてはサテライト市役所として、その後の運用も検討する等の措置を行うべき。サテライト市役所に窓口業務だけでなく、一部の部署の機能も移転させれば、不必要に新庁舎を肥大化させる必要がない。 立体駐車場が9億7,158万8千円とあるが、これだけ多額の費用がかかるなら周辺の民営駐車場の無料券を渡した方がよい。常に240台必要とは思えない。市営立体駐車場が徒歩圏内にあるなかで、無駄としか思えない。人口減が見込まれる中駐車場を増やす必要性を感じられない。 仮庁舎建設費、立体駐車場建設費を除けば、事業費が最も安い配置計画4を検討の対象からあえて外させるような資料で、南二日町への移転計画である配置計画5、6に誘導するような資料で、まるで最初から配置計画5または6に決まっているような印象を受ける。	北田町(現在地)の配置計画①案から④案については、いずれも仮設庁舎が必要になります。 工事期間中に現本庁舎の一部を利用する配置計画①から③の場合には、仮設庁舎の規模は875㎡から2,522㎡と試算をしておりますが、工事期間中の駐車場不足を補うための臨時駐車場や引越し回数が多くなるなどの課題があるものと考えます。 配置計画④の場合においては、現本庁舎をすべて解体してからの建て替えになるため、現本庁舎の延床面積相当分と同等規模の7,130㎡としております。 立体駐車場については、事業費並びにライフサイクルコスト、利便性の観点から、出来る限り避けたいと考えていますが、北田町(現在地)においては、敷地面積が約7,000㎡のため、平面駐車場のみで整備をしようとしても、通路部分を含めて6,000㎡(240台×25㎡)の駐車場敷地が必要となります。 単純計算とはなりますが、残り約1,000㎡の部分に13,234㎡の新庁舎を建設しようすると、新庁舎の建物は13階建て以上になってしまいます。 現在の本庁舎の1階床面積が約2,100㎡ですので、新庁舎の1階部分は半分以下になってしまうことから、利用者の利便性などを考慮すると立体駐車場が必要であると考えています。	今後の参考とするもの
118	「新庁舎整備に関する検討状況について」8 ページの表1-2、6行目	「市役所に来る必要がない市役所」とするのであれば、大きな市役所は必要ではありません。道路整備が進んでいる現在の場所で問題はありせん。	「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。 新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識して進めていきますが、一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。	今後の参考とするもの
119	「新庁舎整備に関する検討状況について」15 ページの26行目	社会福祉会館は行政とは異なる団体です。市庁舎内に社会福祉会館を設置するのは認められません。設置して家賃収入として得ようとしているのでしょうか。	社会福祉会館、高齢者生きがいセンター、保健センター、電算センター、各地区のコミュニティ防災センターの建物については、三島市が所有する施設であり、これらを統合することで利用者の利便性が向上するものと考えております。 各施設で行う業務においては、庁舎機能との関連性が高く、利用者からは庁舎に近い立地を望む声や市議会からは統合すべきとの提言を受けていることから、複合化する計画としています。 これらの複合化を計画している施設を使い続けるとした場合には、築年数が経過していることから、施設ごとに大規模改修費用や建て替え費用、維持管理費用などが将来的に発生することとなります。	反映できないもの
120	「新庁舎整備に関する検討状況について」42 ページの4行目	チーム型テーブル、ユニバーサルレイアウトなどを取り入れることは大変好ましく、ペーパーレスを目指す上で当然のことです。その上で現在の様な個人ごとに袖付きデスクは必要ありません。テーブルで自由に作業することで問題ありません。	新庁舎の規模を可能な限りコンパクトとした計画と認識しておりますので、ご意見をいただきましたチーム型テーブルやユニバーサルレイアウトなどを採用しなければならないと考えておりますので、今後、より具体的な検討を進めていきます。	今後の参考とするもの
121	「新庁舎整備に関する検討状況について」43 ページの表6-1、執務面積	各自が自由にテーブルに着き業務につくことで何ら問題はありませぬ。役職者ごとに別スペースを持ち床面積を増やすことは賛成できません。その分市民のスペースを広く取って頂く方が有効と考えます。	新庁舎整備の際には、可能な限り、職員の職務スペースをコンパクトにするとともに、市民の皆様が利用できるスペースを確保したいと考えております。	今後の参考とするもの
122	「新庁舎整備に関する検討状況について」88 ページの表14-1、8、9行目	南二日町広場に市庁舎を移転させ場合、付帯業務費、用地費が増すものではありませんか。国道1号線取り付け道路も現在のまと言ふ訳にも行きませぬ。別ルートの開設は極めて困難でしょう。また、伊豆箱根鉄道二日町駅からの来庁舎へ歩道整備・確保、南北道路の拡幅、北進車の右折帯設置、信号機の設置位置などを考えると、周辺の民地の用地買収が必須です。南二日町広場への移転は市民への負担が大き過ぎます。	交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
123	「新庁舎整備に関する検討状況について」55 ページの図9-3	「1,000年に1回程度の想定し得る最大規模の降雨によって生じる洪水」で浸水が想定される南二日町広場に市庁舎を移転させることは容認できません。近年の雨の降り方は予想をはるかに超えるものです。豪雨による浸水のため市庁舎に行くことができず、災害時対策本部を立ち上げることすら出来なくなってしまいます。	洪水浸水想定区域(想定最大規模)は、俗に千年に1度の確率と称されていますが、狩野川水系の大場川流域については、中部地区内において、過去に観測された最大雨量をもとに算出がされており、1年を通して、1/1000以下の確率で発生すると想定がされていることから、新庁舎の整備地が南二日町広場になった際には、事前の対策が必要と考えております。新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。	今後の参考とするもの
124	「新庁舎整備に関する検討状況について」10 ページの1～2行目	新庁舎整備に関する検討状況について全94ページ拝見いたしました。非常に詳細かつ網羅的に検討されており、正直驚きました。ここまで調査しまとめられたご担当の皆様の精力的な成果を享受できること、心から感謝申し上げます。一方で、あまりに詳細に検討しすぎたために木を見て森を見ずの状況に、はまってしまっていないか大変気になりました。ここは一旦調査結果を頭の中から外し、原点に立ち返り、市役所とは市民にとってどのような存在なのか考えてみる方が良いのではないかと感じました。市役所は行政の中心です。行政は市民の生活基盤です。日本には「お上(お神)には逆らえない」と言う言葉がありますが、市民にとって市役所はお上なわけです。お上の場所として、ふさわしいのは何処でしょうか？市民が信頼を寄せ、そこにあることで、安心して日々の生活を送ることができる。いざという時、そこを中心に力を合わせて復興に邁進することができる。そんな力を持つ場所は何処でしょうか？三島で言えば、三嶋大社よりふさわしい場所はないと思います。遥か昔、千数百年前から続く伊豆国の一宮。圧倒的な歴史と伝統の力がああります。そこに行けば、誰もが自ずと神聖な気持ちになる。清々しい気持ちになる。明治からの庁舎の変遷について記述がありますが、三島の先人は三嶋大社が三島の中心であることをよくわかっていて、行政の場所をその近くに置いてきたのだと思います。その歴史と伝統を私たちの代で軽く扱ってしまって良いのでしょうか？せつかくの先人の知恵を受け継いだ方が子孫のためになるように思います。詳細にご検討いただいたおかげで、現在の場所を候補地とすることに決定的なデメリットがないことがわかりました。全体を俯瞰してみれば、現在の場所を候補地とした場合の課題は、「試算台数の駐車場を確保するため立体駐車場を建設する、その分の初期コストと保全費が余分にかかってしまう」と言う1点のみであるように見えます。もちろん、利便性を高めるのは大事なことで、市民の利便性の優先度を上げて考えてくださっていること、とてもありがたく思います。でも現在の駐車場の数でも破綻はしていません。そして時代は自家用車を持つ時代から、シェアリングサービスを利用する時代に確実に変化して来ています。(自動車業界の会社で働いております。)時代変化のスピードはとても速く、スマホの普及やAIの発達など、普通の人々の想像をはるかに超えるスピード感です。立体駐車場を作らなくても、一時期ちょっと不便でも、すぐに次世代技術により解消されるのでは、と思います。新幹線の駅、楽寿園や白瀧公園、蜷の源兵衛川、三嶋大社、商店街、市役所、、、これらが徒歩圏内にある、三島は奇跡の街です。世界で特異な日本、その中でも稀なこの街の特長を、一時的な利便性やコストを理由に崩さない方が良く、心からそうに思います。現在の場所で駐車場は立体駐車場としない案を是非加えてご検討いただきたく、よろしく願います。	新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体が用いている算定基準を参考とし、186台分の結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定をしております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台分以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。立体駐車場については、事業費並びにライフサイクルコスト、利便性の観点から、出来る限り避けたいと考えていますが、北田町(現在地)においては、敷地面積が約7,000㎡のため、平面駐車場のみで整備をしようとしても、通路部分を含めて6,000㎡(240台×25㎡)の駐車場敷地が必要となります。単純計算とはなりますが、残り約1,000㎡の部分に13,234㎡の新庁舎を建設しようすると、新庁舎の建物は13階建て以上になってしまいます。現在の本庁舎の1階床面積が約2,100㎡ですので、新庁舎の1階部分は半分以下になってしまうことから、利用者の利便性などを考慮すると立体駐車場が必要であると考えています。新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。三島市としては、来庁される頻度に関わらず、市役所を利用されるすべての方が使用しやすい庁舎となることを目指しています。	今後の参考とするもの
125	「新庁舎整備に関する検討状況について」75 ページの4-8行目	具体的にはシミュレーションの表についてです。北田町の新築に賛成しますが、南二日町広場をグランドのままにせず、例えば仮庁舎を建て、役目を終えた後も支所として各手続きが行える、あるいは広いグランドをいかした防災センターの機関とする方法もあつと考えました。加えて、駐車場が広く取れるので、スーパーなどの商業施設や、イベントや会議ができる文化センターのような文化施設を併設できれば、北田町、南二日町の双方への回遊性、賑わいが生まれると思います。電車を利用される方も増えると考えます。予算の都合もあると思うので、一度には勿論難しいと思いますが、町全体が榮えてほしいと願う一市民として、僭越ながら意見を述べさせていただきます。	仮設庁舎については、一時的な利用を想定していることから、相応の仕様にて建設することで検討をしております。仮に長きにわたり支所として使用しようとしても、現在計画をしている新庁舎並みの仕様にしななければならないため、コスト面で大幅な増額が見込まれますことから、実現は難しいものと考えます。	今後の参考とするもの
126	「新庁舎整備に関する検討状況について」53 ページの1～2行目	私ども、広報みしまを音訳する「やまなみ」は、およそ40年前に誕生したボランティアです。現在、身体障害者福祉会の会員数の減少と共に、利用者は少しずつ減少しております。しかし、現在の利用者と共に、市の配信によって視覚障害者以外の方も、デジタル配信を利用する方はいると思います。活動を続けてゆく為に、お願いしたいのは雑音が入りにくい録音専用の部屋の設置です。機材の移動の事もあつるので、社協の施設の中に設けてほしいのですが、今後の推移を考慮すると市の広報課関連もありと思っています。今後、数年でAI読み上げ等の状況変化も考えられますが、ご一考をお願い申し上げます。	新庁舎整備における社会福祉会館の配置等については、現段階では定まっておりますが、次期計画以降となる基本計画、基本設計、実施設計の各段階において、実現に向けて検討を進めていきます。	今後の参考とするもの
127	「新庁舎整備に関する検討状況について」53 ページの1～2行目	駐車場を多くしてほしい	市民アンケート調査の結果において、回答者の6割以上の方から、駐車場が利用しにくいとのご意見をいただいておりますので、新庁舎における駐車場の規模や配置などには、市民皆様の利便性を最大限に考慮しながら検討を進めていきます。	今後の参考とするもの
128	「新庁舎整備に関する検討状況について」39ページの25行目	他施設の複合化 について 今の議会の傍聴席には、バリアフリー化していないのでバリアフリーにして、誰でも人の手の施しをうけなくても行かれるようにする必要があります	市民の皆様が利用しやすい庁舎となるように検討を進めていることから、議会傍聴席のバリアフリー化においても検討を進めていきます。	今後の参考とするもの
129	「新庁舎整備に関する検討状況について」54ページの1行目	新庁舎の整備候補地について 南二日町の候補地について南二日町グランドの西側、旧下田街道は、狭く歩道も片方しかない区間もあり国道1号線からの乗り入れ動線が確保できれば、交通量が増加することが予想される。最寄り駅の二日町駅前の歩道もなくとも歩行者が危険です。二日町駅の道も交通量も増え益々危険度がまします。南二日町の新庁舎の整備候補地の周辺の歩道の整備が必要です。	交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。	今後の参考とするもの
130	「新庁舎整備に関する検討状況について」93ページの35～37行目	「南二日町広場については…連携が図りやすい…」とあるが、そもそも浸水地帯であり、浸水したら機能がまったく生かれないと思う。	新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。	その他(質問など)

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
131	「新庁舎整備に関する検討状況について」40ページの10～13行目	<p>公共施設保全計画…「市役所に来る必要がない市役所」…とあるが新しい計画ではどちらも240台、及び240台以上の駐車場が示されている。これらの状況から考え、駐車場台数はもっと少なくても良いのではないかと</p>	<p>「市役所に来る必要がない市役所」とは、新庁舎の供用開始の時点ではなく、長く利用している間に実現すべき方向性であると考えております。</p> <p>新庁舎整備の際には、今後の技術革新の動向を注視しつつ、デジタル技術の活用を常に意識して進めていきますが、一方で、サービスは一人ひとりのニーズに合わせて選んでいただくものとして捉えており、技術の進歩に追従できないデジタルデバイドの存在も意識しながら進めることとなります。</p> <p>新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。</p> <p>駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものとしますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があるかと想定しております。</p> <p>北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。</p>	<p>反映できないもの</p>
132	「新庁舎整備に関する検討状況について」9～86ページ	<p>新型コロナ5類のいま全ての生活様式が一変し激しい物価上昇にさらされているが新庁舎建設は待たなしの状態であるため次のように提案します。</p> <p>1. 庁舎はコンパクトとする。 19P31行 (1)建設費は最大100億円(物価up30%含む、実質70億円)以内 88P (2)北田町立体駐車場は作らない 86P ①北田町フラット地駐車台数60-70台 ②市営駐車場280台 計≒350台駐車場とする。</p> <p>なお、全ての駐車料金は基本的に有料とする。(ただし障害者割引パスカード発行) ※例。県庁、沼津総合庁舎、三島駅前など基本的に有料である(利用者公平性を期するため無料はなし)</p> <p>2. 庁舎は集中型と分散型とする 9P (1)本館 ①本議会場(各委員会室含む) ②DX推進ビジョン実現する効率的な質の高い業務を行う職員集団 19P31行 (2)支所 ①中央町別館②大社町別館③保健センター④社会福祉会館⑤学習センター⑥北上プラザ⑦錦田公民館⑧中郷公民館など地域住民の近いところで質の高い行政サービスを提供することにより市民の安心安全が保てる。 3. 歴史的文化的伝統ある北田町に残す 4. 南二日町広場 (1)浸水地域であり災害拠点として特別な対策が必要である。 86P ①新庁舎は1.4m盛り土は地下水湧水の影響を受ける危険性あり ②昨今は線状降水帯に1時間100m/m強の豪雨が多発しむぞう災害により生命体財産が脅かされる事例が多く住民の不安払拭するための行政責任と共に多大な費用が必要とされている。 ③防災手段として巨大な貯水槽たとえば13000?設置する場合は15億円～20億円は必要と思われる。 (2)国道からの乗り入れ道路、二日町交差点付近道路改修 86P (3)水路権 (4)遺跡・発掘本調査費 ※など予算未算入の不確実要素が多いため現時点の南二日町広場案は再検討要と考えます。</p>	<p>現在の庁舎施設については、庁舎機能が本庁舎、中央町別館、大社町別館の3カ所に分散されていることで、来庁者の利便性や事務の効率化、円滑な災害対応などに支障があると考えております。</p> <p>市民アンケートにおいても集約化を望む声が多かったことから、1箇所に統合することで検討を進めています。</p> <p>仮に、各施設を長期にわたり継続使用することとした場合、それぞれの施設において、大規模改修の費用や施設更新のための建て替え費用、築年数に応じた維持管理費などが必要になってくることから、老朽化が進行している施設においては、統廃合や複合化を進めることで、総量の最適化が図れることから、当市が置かれている現状においては、最善の手法であると捉えております。</p> <p>このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討をしていただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。</p> <p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>今後の参考とするもの</p>
133	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>・七重の塔を活用するイメージ 北田町(現在地)は、当初、三島代官所が設立されていましたが、やがて葦山代官の陣屋の出張所のような施設となり、更にまた、幕末の頃(1860年前後)には、江川代官が組織した農兵の訓練場の一つが置かれる等歴史的な場所でもあります。</p> <p>現在地は、敷地面積が限られているものの、想定規模の庁舎建設は可能と考えられることから、必要最低に限定した上で、コンクリート造りを前提に建設することを考えているようですが、私は箱根山にある伐期を過ぎた木材を利用した庁舎を建てることを提案します。コンクリートより、木材の方が長持ちしますし、部分的な修復もOKである利点と共に、SDGsに貢献する話題性の高さも有効と考えます。</p> <p>更に、一部分に国分寺の七重の塔をデザイン化したものを設置し、七重の塔の最上部には富士山の眺望を確保できるレストランを設置することで、歴史あるまちを市民や来訪者にアピール出来ると考えます。</p> <p>尚、七重の塔のデザインは、コンクリートの庁舎に決まったとしても、採用して頂きたい。また現在、市内の回遊性は、三島駅を起点に考えられているようですが、三島田町駅は中心街へも近く、副駅名として(三嶋大社前)を掲げていますので、そちらから新庁舎や三嶋大社への観光ルート開発の必要性を提案します。</p> <p>また、建物の規模は、人口減が予想されていますので、それらを考慮した規模のものを建てるべきであると考えます。</p> <p>庁舎を、単なる行政手続きの場所として捉えるばかりでなく、市民が気軽に立ち寄り、憩えるような空間として整備することも、まちの魅力をさらに高めることにも繋がると考えるので、その可能性についても検討していただきたい。</p>	<p>木材利用、SDGs、デザイン、跡地利活用等の検討につきましては、基本構想にて整備地が選定された後、基本計画や基本設計の策定段階で検討を進めていくこととしております。レストラン等の利便施設の複合化については必要性や採算性等をふまえ、こちらも基本計画や基本設計の策定段階で検討を進めていく予定としております。</p>	<p>今後の参考とするもの</p>

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
134	「新庁舎整備に関する検討状況について」34～36ページ	<p>理想のまちなかと庁舎像から考える庁舎の位置について 北田町に建てたい、南二日町に建てたい、双方の意見を読んでそれ等に対する私の意見。「新庁舎は南二日町に移転。北田町跡地は観光用駐車場にすべき」</p> <p>1. 南二日町は敷地も広く駐車場も余裕が持てる。敷地の大きさから新たな企画事業などの自由度がある。</p> <p>2. 現在、三島大社の駐車場は隣接されているがそれは余り経済効果を生んでいない。駐車場を北田町跡地に移転すると、降車後大社まで観光客は歩くことになる。しかしそれが大きな経済効果を生むことになる。観光バス用などの駐車場は寺社からかなりの距離を歩かせているところは多い。しかしそれにより寺社までの参道の土産物店などは大いに賑わっている。その例を見ても人の動きによる活性化、経済効果が期待できる。現在の三嶋大社隣接駐車場の跡地はレストラン、地域物産販売所、無料休憩所などを入れるなど利用価値は高い。</p> <p>3. 高齢化社会となり免許返納者も増加しておりアクセスは重要。電車では二日町駅前の南二日町の方が圧倒的に良く、伊豆箱根鉄道二日町駅の乗降客の増も期待できる。伊豆箱根鉄道は三島市民にとって重要な交通機関で無くてはならない。しかしその経営状況も非常に厳しい、乗降客増が改善の一助になれば良い。</p> <p>3. 現在の北田町に新設してもその地域へのさらなる経済効果は期待できない。そして立体駐車場などは大きな負担となる。</p> <p>4. 大きな新規投資をするのでその経済効果を期待したい。市民の安心安全利便性などを第一に考慮すべきではあるがそれと共に外からの経済効果を求めるべき。三島市は最新、観光客も増え人気が高まっている。しかしお金を落とさず通り過ぎていく人ばかりではないか。であれば観光客など外から来る人たちにお金を落とさせざる仕組み作りが必要。近隣市町では全国的に名の知れるようになったお土産名物などが沢山生まれている。しかし三島に行った時にはこれを食べよう、これをお土産にしようという魅力的なものがほとんどない。一部の食事処など行列店もあるが、それは特殊な例である。三島コロッケなど既にコロッケは神戸を筆頭に沢山の街で名物となっている。差別化も出来ていないので、これをお土産にする人もいない。Tシャツや三島ならではのグッズを作って売り出す等もアイデアの一つ。西麓野菜が自慢ならそれを使ったお土産になる様なスイーツなど、誰にもわかる特徴があれば売れる可能性は十分にある。市民から三島名物のアイデアコンテストなど企画しても良い。近隣では市の職員などを先頭に市の活性化活動が活発で、驚くほど観光客も増え変身を遂げている市町もある。オリジナルなアイデアが出なければ、他市町の成功例を具体的に羅列し、その中で三島で出来ることを抽出し同様の事をやってみても良い。お金をかけるならその経済効果を最大限に考えるべき、経費対効果を十分に検討しチャレンジする積極性が必要。三島市は三嶋大社、楽寿園、源兵衛川、白滝公園、それらが集中的にまとまり、ウォーキングコースとしてとても人気がある。全国的にも珍しい人を呼べる好条件がそろっている。楽寿園など新幹線の駅前の全国的にも他にはない好立地、なのにその良さが全く生かし切れていない。楽寿園はお金を掛ければ常に水を湛えた素晴らしい公園に生まれ変わる可能性もある。出来ない理由は沢山あると思うが、やる為のすべてのチャレンジを。三島市は楽寿園の再整備から始まりJR南北道、楽寿園内の郷土資料館の正面移転、商店街の賑わい復活など懸案事項が多々あるが、全ては財政面から実行できずにいる。今回の新庁舎の一連の移動などをトリガーに再挑戦すべきです。新庁舎については変革の絶好の機会なので、市の潤沢な財政を目指しそれらを十分に考慮に入れ三島市の新たな飛躍、発展に向けた挑戦を期待したい。</p>	<p>跡地の利活用については、スマートフォンなどから得られるビッグデータをもとに「まちなかの賑わいづくり」の方向性を検証するため、スマート・プランニングを候補地ごとに実施しております。</p> <p>シミュレーションの結果によりますと、いずれの候補地に庁舎を整備した場合においても、跡地等を公共施設よりも民間施設として活用する方が人の回遊行動が増加する傾向を確認しております。</p> <p>検証による傾向としては、南二日町広場に庁舎を整備するシナリオで、より数値が高く表れておりますが、新庁舎の整備地は、市民皆様の御意見を参考として、総合的な観点のもと、決定していきたいと考えております。</p> <p>観光関連については、市と観光関連団体等がアフターコロナ時代の新たな観光まちづくりを目指し、計画的に観光関連事業を展開できるように、第3次三島市観光戦略アクションプランを策定しています。</p> <p>新庁舎整備の計画進捗の過程に併せて、観光部局との連携を図りながら、より具体的な跡地等の利活用方法の検証を進めていこうと考えています。</p>	今後の参考とするもの
135	「新庁舎整備に関する検討状況について」P7～P8の	<p>1. P7～P8の東地区コミュニティ防災センター、西地区コミュニティ防災センター、南地区コミュニティ防災センター、北地区コミュニティ防災センターの4か所は防災備蓄品倉庫としての役割が主なようです。それぞれの地区が避難する西小、南小、北小、東小が災害時の避難所になり、現在子どもの数も減っていて空き教室もあることでしよう。なので、空き教室を防災備蓄品の倉庫に使用すれば良い。そして、防災備蓄品は分散してある方が良いのでP46にある新庁舎の面積が要らないと思います。</p>	<p>各地区のコミュニティ防災センターの防災倉庫については、災害時において、市が被災地へ配布する備蓄品を保管しており、各避難所に用意している防災備蓄品とは別のものであり、1箇所に集約するほうが管理上も合理的なため、新庁舎が整備された際には、複合化する計画としています。</p> <p>学校施設は、空き教室等を活用して、コミュニティ防災センターのコミュニティ機能などを複合化することで、地域の活動や繋がり活性化を図っていくこととしております。</p>	反映できないもの
136	「新庁舎整備に関する検討状況について」47ページ	<p>2. P47の保健センター770㎡、高齢者生きがいセンター100㎡は新庁舎に含める必要がないと考えられます。保健センターで行われている3ヶ月検診、3歳児検診など検診業務は免疫力が未熟な小児を混み合う市役所に集めるのは好ましくありません。高齢者にとっても同じで、それぞれの窓口業務のみ市役所で行えば良いし、障害を持つ子どもを検診に連れて行くのも気が引ける親に、不特定多数の人が出入りする市役所という場所にはもっと気後れして行けなくなります。</p>	<p>建物系の公共施設については、公共建築物長寿命化指針により、目標使用年数を一般施設で60年としておりますが、長期にわたり使用を継続する施設においては、長寿命化改修工事などを実施することで、目標使用年数を80年にすると定めております。</p> <p>築年数を経過した施設においては、目標使用年数の残存期間、施設を利用する間のコスト面での検証、施設の利便性や施設更新に関する建替え費用なども考慮する必要があります。</p> <p>統合や複合化を計画している各施設においては、築年数が50年以上経過しているものも多く含まれており、使い続ける場合には、早急に大規模改修工事等を行わなければならない時期になっております。</p> <p>また、複合化を計画している各施設での業務は、庁舎機能との関連性が高く、施設の利便性の観点から庁舎に近い立地を望む声も多くいただいております。</p> <p>このような状況などから、市議会議員で構成された公共施設等マネジメント検討特別委員会において、長期間をかけて検討していただいた結果、新庁舎を整備する際には、統合(複合化)すべきとの提言を受けているところです。</p> <p>コスト面や利便性などを十分に踏まえた上で、可能な限り統合や複合化を推進してまいります。</p> <p>なお、施設の利用に配慮が必要な方に対しては、導線の工夫やユニバーサルデザインなどを取り入れるなどの検討を進めていきます。</p>	今後の参考とするもの
137	「新庁舎整備に関する検討状況について」12ページ	<p>3. P12に人口減少等を想定したコンパクトな規模、P22～P23サテライト市役所とあります。現在市役所に勤務している市職員の方のかなりの人数が公民館で勤務することになると思うので、P44にある執務面積は少なくとも良いと思われれます。コンパクトな市役所にして、窓口は大きくすべての課に通じるようにしてほしいというのが市民の要望です。</p>	<p>「サテライト市役所」とは、庁舎と出先機関をネットワークでつなぎ、最寄りの施設から様々な手続きが可能になるような検討しております。</p> <p>そのため、公民館に多くの職員を配置することは想定しておりません。</p> <p>新庁舎については、利便性の高い1階部分の床面積をどれだけ確保できるかが課題と捉えておりますが、市民の皆様にとって利用しやすい施設となるよう検討を重ねていきます。</p>	今後の参考とするもの
138	「新庁舎整備に関する検討状況について」47ページ	<p>4. P47表6-4の表、職員数を人口1万あたり63.64人必要ということだと思いますが、兵庫県豊岡市は面積が697.55km²、茨城県牛久市は58.92km²、三島市は62.13km²なので、福岡県宗像市でも42.4人なので三島市の職員数は40人ぐらいでよいのではと思います。したがってP46よりコンパクトにできるはずです。</p>	<p>資料P47に記載の表6-4については、三島市の将来人口推計値から、西暦2065年における職員数を推測するために用いたものであり、行政区域面積から職員数を予想したものではありません。</p> <p>庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパーパルス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。</p> <p>当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同等規模となっております。</p> <p>このため、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、利用者が不便とならない配慮が必要と考えております。</p>	反映できないもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
139	「新庁舎整備に関する検討状況について」17ページ	5、P17の駐車場問題ですが、現在、西館の横の駐車場が利用しにくいと思われます。利用しにくいです。あることを知らない人もいます。しかし、P50の表7-3市役所来庁が数か月の1回程度がほとんど(90%)であり、北田町の170台で十分と思います。マイナンバー申請の時も混み合っていました、駐車場にはちゃんと入れました。今まで三島市に50年住んでいます。市役所へは車でいきますがやはり駐車できないことは今までありませんでした。	新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車場台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があると思定しております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要がありますと考えております。本庁舎駐車場における混雑の状況について、9月7日から12月12日までの開庁日数65日間の満車の回数や時間を集計したところ、延べ33回で計17時間40分間で満車となっておりますので、幾度となく駐車台数が不足した状況の確認をしております。	反映できないもの
140	「新庁舎整備に関する検討状況について」62～64ページ	6、P62、P63、P64の新庁舎北田町案と二日町案を比較しました。北田町案の問題点は、①仮庁舎、②駐車場この2点のために費用がかかることです。①に対しては、生涯学習センターを使う、生涯学習センターの現在使われていない地下駐車場も利用する。生涯学習センターでやっている教室は、市民文化会館の会議室を使用し、②の駐車場に関しては5で説明している理由で平地に170台ぐらいで良いと思われます。したがって北田町の問題は解決できます。P64二日町の点にも疑問ありますが、用紙が足りませんので、以上とします。	北田町(現在地)が整備地となった際には、建替え期間中において、庁舎機能の一部を生涯学習センターなどへ仮移転する検討が必要と考えておりますが、整備地が未定の現段階では、詳細な検討は行っておりません。整備地が定まり次第、検討を進めていきます。新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体を用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。駐車場台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものととなりますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性があると思定しております。北田町(現在地)での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要がありますと考えております。	反映できないもの
141	「新庁舎整備に関する検討状況について」20ページの表2-3	新庁舎の跡地の利用について 跡地とは何をさすのか。本来跡地とは既設の物をとりこわす等して無くなったところが跡地ではないでしょうか。もし南二日町に庁舎が決まった時、現庁舎はとりのぞくと思えますここが跡地では。この跡地の利用方法等が議論されると思えます。逆に現状の北田町に決定したとき、南田町の予定地は跡地になるとは思わない。又、現状の本庁の分館等はどちらに決まっても統合するはづなので同条件となる。	跡地等活用については資料P71からの「跡地等の有効活用の検証について」をご参照下さい。跡地の利活用については、スマートフォンなどから得られるビッグデータをもとに「まちなかの賑わいづくり」の方向性を検証するため、スマート・プランニングを候補地ごとに実施しております。シミュレーションの結果によりますと、いずれの候補地に庁舎を整備した場合においても、跡地等を公共施設よりも民間施設として活用する方が人の回遊行動が増加する傾向を確認しております。検証による傾向としては、南二日町広場に庁舎を整備するシナリオで、より数値が高く表れておりますが、新庁舎の整備地は、市民皆様の御意見を参考として、総合的な観点のもと、決定していきたいと考えております。なお、南二日町広場は跡地等としての検証は行っておりません。	既に盛り込み済のもの
142	「新庁舎整備に関する検討状況について」24.25ページの自治体アンケート調査	他自治体の調査の結果、市では参考になったところはあったのか？ただ数字を並べているだけでは、参考になる点を具体的に上げることができないか。	自治体アンケート結果の詳細については、市ホームページの新庁舎整備のページ内に記載がありますので、お手数ですが、そちらをご確認ください。なお、参考となった主な事項は、資料に記載した内容となります。	その他(質問など)
143	「新庁舎整備に関する検討状況について」29.30ページの表3-2、3-3 新庁舎整備検討委員会の概要	新庁舎の移転に反対する人はいない。北田町は市役所があるから発展した意見は進歩性が感じられない。保守的だ。昔は役所があることで街の発展はあったと思うが、現在役所にくる人の74.5%が車である。発展するとは思えない。表3-3最終項で隣接地の取得とか駐車場は地下式や1階をすべて駐車場にするなど費用増になることを考えているのか。	新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。	今後の参考とするもの
144	「新庁舎整備に関する検討状況について」65ページ～のライフサイクルコストについて 61ページ含む	このコスト算出の中で仮設庁舎費は含まないとなっていることにギ間を感じる。南二日町にするとこのコストが不要になるため、対比することができない？このコストが入ると両者の差はもっと多くなるのでは	今回お示した資料は、国が示すライフサイクルコストの算定方式を用いており、ご指摘の仮設庁舎においては、あくまでも一時的な建物のため、一般的に算入しないことになっております。仮設庁舎に要する費用については、表14-1 概算事業費の仮設庁舎建設費に記載のとおりとなりますので、ライフサイクルコストと併せてご確認いただきたいと思います。	その他(質問など)
145	「新庁舎整備に関する検討状況について」	「新庁舎整備に関する検討状況について」を拝読しましたが、文中に英語表示が多く意見がわかりにくい。又略号RPA,PFI, I a、DB方式、ECI方式。発注方式BOT,BTO,BOO,BT,DBO,DB←全く不明	市ホームページ内に用語集を用意しておりましたが、資料のページ数が非常に多くなってしまったため、紙媒体での資料には添付していませんでした。お手数ですが、市ホームページよりご確認ください。なお、以後の資料からは用語集を添付していきます。	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
146	「新庁舎整備に関する検討状況について」	<p>市庁舎移築への意見 三市広報2023.9.1号に関し私見を述べます。</p> <p>1. 市庁舎の整備について考慮すべき点 (1) 現在、部署の所在が分散していることに起因する効率(不便さ)の低下を解消。 (2) 車利用者を除く、特にこれから増加する高齢者等のアクセス不良、公共交通手段の利用し易い場所へ。(例) 郊外地区からの不便さ。 (3) 市外からの観光目的者のモータープール(バス用スペース)。</p> <p>2. 課題解決のためには (1) 市庁舎とバスセンター併設 路線バスの起点は現状三島駅となっております。これを市庁舎(又は隣接地)を起点又は中継点とすることにより郊外からの不便さは解消。富士急、東海等各社共通に通過するポイントにしたい。 (2) 観光バス用プール地としての役割 観光を市の目玉政策とし、市外からの客も多い三嶋大社はその拠点でもあるが、大社隣接の駐車場利用では市内への散財効果からは極めて不満足。せめて大社への大社参道は歩いて移動する位置にバスプールを設けたい。商店街の活性化に寄与するであろう。</p> <p>以上、市民のアクセス利便性向上と観光客対策を考慮した地点、構想とすべきと考えます。</p> <p>3. 試案・私見 (1) 市民のアクセス、観光バスプールの点から現在の市庁舎地が望ましい。しかし平面的な広さから困難さもあり得る。中央町別館地はNTT跡地、更に道路面には旧銀行跡地、隣には市営駐車場がまとまっている。この地を連結して利用することにより新市庁舎にふさわしい (2) 前記地域が活用出来れば、現市庁舎跡地をバスセンター並びにモータープールとして展開できる。 (3) 現市庁舎に高層階を設ける案(P5①)を更にPスペースを含めて高層化を検討することにより課題解決もあり得ます。 以上、“広報みしま9月1日号”から想起した私見を述べました。今後の検討事項に採用されれば幸いです。</p>	<p>交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。 跡地の利活用については、スマートフォンなどから得られるビッグデータをもとに「まちなかの賑わいづくり」の方向性を検証するため、スマート・プランニングを候補地ごとに実施しております。 シミュレーションの結果によりますと、いずれの候補地に庁舎を整備した場合においても、跡地等を公共施設よりも民間施設として活用する方が人の回遊行動が増加する傾向を確認しております。 検証による傾向としては、南二日町広場に庁舎を整備するシナリオで、より数値が高く表れておりますが、新庁舎の整備地は、市民皆様の御意見を参考として、総合的な観点のもと、決定していきたいと考えております。 観光関連については、市と観光関連団体等がアフターコロナ時代の新たな観光まちづくりを目指し、計画的に観光関連事業を展開できるように、第3次三島市観光戦略アクションプランを策定しています。 新庁舎整備の計画進捗の過程に併せて、観光部局との連携を図りながら、より具体的な跡地等の利活用方法の検証を進めていこうと考えています。</p>	今後の参考とするもの
147	「新庁舎整備に関する検討状況について」73ページ	<p>新庁舎を南二日町広場移転を前提に意見します。P73に記載されている分析データでコロナ感染症の影響を排除しての2019年～2022年ですが、感染症最中であり平常時のデータとは考えにくい。P50に記載データでは市役所来庁頻度は低く、また自家用車での利用が圧倒的に高い。高齢化が進む中で街中への自家用車進入より郊外へ移す方が安全性は高いと思われるし、北田町と南二日町とは距離的に1k程度であり移転での不便性は少ない。移転先は二日町駅が近くでありこれは現状の田町駅と同等の利便性である。市民からみて問題となるコスト面からしても予定建設費は南二日町移転の方がメリットはあり建設中の業務問題もクリアにできる。差額金額からみて無駄な建設費と思える。市役所来庁後の商店街への移転人数より、駐車スペースを確保している郊外型の商業施設への来店が多いと推測し、流れが市役所→商店街とは考えにくく市役所＝市内商店街活性化とはならないと考える。現庁舎は三島市観光の中心である三嶋大社に隣接しているため、跡地の利用方法を考えるべきで観光都市としての跡地有効利用で更なる市内活性化は期待ができると考えます。資料では跡地利用方法などが分かりづらく、具体例など明確にして欲しい。</p>	<p>跡地の利活用については、スマートフォンなどから得られるビッグデータをもとに「まちなかの賑わいづくり」の方向性を検証するため、スマート・プランニングを候補地ごとに実施しております。 シミュレーションの結果によりますと、いずれの候補地に庁舎を整備した場合においても、跡地等を公共施設よりも民間施設として活用する方が人の回遊行動が増加する傾向を確認しております。 検証による傾向としては、南二日町広場に庁舎を整備するシナリオで、より数値が高く表れておりますが、新庁舎の整備地は、市民皆様の御意見を参考として、総合的な観点のもと、決定していきたいと考えております。 スマート・プランニングにおける跡地の活用方法については、あくまで活用用途の方向性を検証しています。 具体的な活用方法や用途については、基本構想にて整備地が選定された後、基本計画や基本設計の策定段階で別途検討を進めていくこととしています。 なお、今回の検証で使用したビッグデータにおいては、2019年のコロナ禍前のデータと比較し、同水準程度まで回復したとみなせる2021年12月と2022年10月のデータを採用しています。</p>	今後の参考とするもの
148	「新庁舎整備に関する検討状況について」61ページ	<p>事業費が北田町と南二日町だと10億から25億円の差。ライフサイクルコストも48億から86億の差があり、なるべく安くした方がよい。また将来性を考え敷地に余裕がある方がよい。また、北田町の敷地は三嶋大社と一体化した開発をすれば、観光客の誘致に役だつと思われま</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの
149	「新庁舎整備に関する検討状況について」149ページの3～8行目	<p>現状では自家用車の利用が圧倒的に多いが、三島市は静岡県の中では車への依存度は低く、今後超高齢化社会に向かうと車の運転が出来ない人が増加することが予想されている。SDGsの観点からもコミュニティバスをより普及させるべきであり、他の施設と結んだ交通ネットワークを作りやすい点から、北田町の方がトータルでの利便性は高いのではないかと。</p>	<p>コミュニティバスについては、市の施設がある場所は原則として運行をしていることから、南二日町広場が整備地となった際には、ルートの見直しにより、運行することになると考えております。</p>	今後の参考とするもの
150	「新庁舎整備に関する検討状況について」160ページの1～6行目	<p>三島市立地適正化計画によれば、南二日町も都市機能誘導区域に含まれているとは言え、中心市街地からポツンと離れているため、三島の市街地の活性化には結びつかないと思われる。現市役所は都市機能誘導区域の一番端にあり、郊外からも比較的アクセスしやすく、街の中心部からも徒歩や自転車などでアクセスできる絶妙な場所にある。「三島市版の拠点ネットワーク型コンパクトシティ」の考え方に合致するのは現市役所用地での建替えであることは間違いない。車のアクセスだけで考えたら広い方がいいが、数ヶ月に1回程度の利用であり、現状でもそこまで渋滞や満車の状況が発生しているわけではない。</p>	<p>都市機能誘導区域の設定に関しては、市街地に種地となる敷地が少なかったことから、三島市都市計画マスタープランにて中心拠点に位置づけられる公有地を活用していくことが必要とされ、南二日町広場などが編入されています。 立地適正化計画においては、「居住者の共同の福祉や利便性の向上を図るために必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するもの」として多くの公共施設や民間商業施設などを定めており、これら施設利用者の居住を誘導するための区域として設定した、居住誘導区域が周辺に位置する北田町(現在地)や南二日町広場は、いずれも市役所を整備する敷地としてふさわしいものと考えております。 中心拠点における誘導施設は立地適正化計画において、「居住者の共同の福祉や利便性の向上を図るために必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与するもの」として多くの公共施設や民間商業施設などを定めていることから、これら施設利用者の居住を誘導するための区域として設定した、居住誘導区域が周辺に位置する北田町(現在地)や南二日町広場は、いずれも市役所を整備する敷地としてふさわしいものと考えております。 本庁舎駐車場における混雑の状況について、9月7日から12月12日までの開庁日数65日間の満車の回数や時間を集計したところ、延べ33回で計17時間40分の間で満車となっておりますので、幾度となく駐車台数が不足した状況の確認をしています。</p>	今後の参考とするもの
151	「新庁舎整備に関する検討状況について」89ページの19～31行目	<p>市街地に市庁舎を建設する場合、そもそも利便施設は周辺市街地が担っている。従って北田町の建替えの場合は市役所自体に組み込む必要は必ずしもない。また、その方が周辺市街地の活性化に繋がることは間違いない。南二日町広場に移転した場合、周囲には何もいないため、市役所内にある程度の利便施設を組み込む必要がある。</p>	<p>利便施設に関しては、市議会報告会や市民ワークショップ等にて要望があったことから、導入の検討を行っていますが、候補地ごとに必要性や採算性を検討したうえで、今後策定する基本計画や基本設計の策定段階において、より具体的な検討を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの
152	「新庁舎整備に関する検討状況について」190ページの1～8行目	<p>現市役所を南二日町に移転し、跡地に商業、観光、公共施設を誘致し、来訪者が増えるという前提に立てば、数値上、街の回遊性は高まるという結果が出るのは当然だが、それらの施設にそれだけ人が集められる保証はないのでは。人口減少化社会においては、施設を計画すれば人が集まるといふシミュレーションはそもそも絵に描いた餅になる可能性が高い。市役所は職員が必ず働いており、必ず来訪者もいるわけだから、各日に街の活性化効果が見込める施設である。市役所を移転してしまうと北田町だけではなく、三島の中心市街地の衰退を誘導する可能性が高い。</p>	<p>当市の新庁舎整備については、分散されている庁舎機能を集約することで、中央町別館などが跡地になりますので、まちなかの賑わいづくりの拠点等の用途として、次期計画以降に、より具体的な検討を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
153	「新庁舎整備に関する検討状況について」15 ページの23～39行目	平成30年の提言内容は、時代のスピードと、コロナ禍をふまえ、これを基準に計画を立てるのは時代錯誤となりえる。市庁舎に市民が多く訪れるのは、いまだにAI導入の遅れが露呈しているのであって、市庁舎に手続きに来る人は減らし、地域エリアまたはオンライン(スマートフォン)で行政手続きを完了するためにDXを推進したコンパクトな庁舎を目指し、複合化についても導入するなら市民コミュニティスペースや、若者たちの市民創発による地域レベルの課題解決の活動をつなぐ未来創造課は若い職員で形成し、今の古い古い体制を変革するイメージをつくりあげてください。	庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。 なお、市議会公共施設等マネジメント検討特別委員会からいただいた提言については、現状下でもファシリティ・マネジメントの観点において、非常に有効な手法であると捉えております。	今後の参考とするもの
154	「新庁舎整備に関する検討状況について」43 ページ	施設規模について、国土交通省の古い基準に沿って規模を策定しているが、執務面積を一人あたり必要面積を固定すると広く場所をとる上に、昭和感覚のままが否めない。資料全体もそうだが、DXと言いつつもDXをまったく理解していない資料だと一目瞭然。固定面積ではなく、職員にはフリーデスクを用意し、早い段階でサイバー空間を利用し、そのフィードバックをフィジカル空間で生み出すSociety5.0を目指すべき。それであれば大きな市庁舎は作る必要はない。郊外では草は生えたまま、地域の人が草刈りをする日々、由緒ある楽寿園の安っぽい売り出し方は庶民向けというよりハリボテ感が強い。三嶋大社も祭りにお金はかけているわりには、出店とイベント任せで三嶋大社自体への長期管理がされているように感じませんが管轄外なのでしょうか。管轄外という言い訳であれば、これまた残念な話。空き家も多く、観光地が廃れた街に庁舎だけ新設。見栄と品の悪さ、街全体のバランスの悪さに、残念がる声を聞いています。 今後のためにフリースペースを確保するならば多少は広さも必要だとは思いますが、保健センターや社会福祉会館は統合するならばスリムにし、防災倉庫は地域に残す、または学校に入れ、吸収をしなくても良いし、手続きはオンライン化によって何が自宅で可能になるのか？そしてその際に不明点や不具合があれば、地域の窓口(分散型庁舎)が対応するなどDXの魅力をしっかり盛り込んでから面積を出してください。	庁舎の延床面積については、国土交通省の基準により算出すると18,093㎡となりますが、いずれの候補地においてもペーパレス化等のDX技術を積極的に活用することとしており、新庁舎の規模は、出来る限りコンパクトとする13,234㎡で計画を進めています。 当市が計画を進めている庁舎の規模は、現在の人口規模をベースとしているわけではなく、約40年後の人口推計により算定した数値と同等規模となっております。 このため、フリーアドレス化や、チーム型テーブル、ユニバーサルレイアウトなどを取り入れることによって、フレキシブルな対応ができるように検討を進めております。 実施したスマート・プランニングについては、Society5.0に関する取り組みの一つとして国の資料でも紹介されていますのでご確認ください。 各地区のコミュニティ防災センターの防災倉庫については、災害時において、市が被災地へ配布する備蓄品を保管しており、各避難所に用意している防災備蓄品とは別のものであり、1箇所を集約するほうが管理上も合理的なため、新庁舎が整備された際には、複合化する計画としています。	今後の参考とするもの
155	「新庁舎整備に関する検討状況について」43 ページ	私自身は令和2年から、新庁舎の市民会議と新庁舎ワークショップに参加してきましたが、そこでの市民の意見が反映されていないのは何故でしょうか？そこが反映されての資料であれば私たちが長い時間を割いて参加した理由もわかりますが、まだ基本設計に盛り込まないにしても、そこが全く抜けているのは違和感を感じます。職員が働きやすい職場ではあってほしいですが、市民の税金を使うのですから、市民の声がもっと幅広く拾われるよう努力をする、そしてそういう市民参加方式が良いと会議で話題に出ました。少人数を集めて「市民の声」を聞きましてはやめていただき、庁舎関連はすべて市民傍聴可能とし、その募集も三島広報でするようにして、これから税金を納める若い世代の負担もちゃんと提言して意見収集をしてあげてください。	市民会議の結果をもとに、「新築」、「候補地は北田町(現在地)若しくは南二日町広場」としています(P19)。また市民ワークショップで頂いたご意見から、防災や便利施設、アクセス等について、検討を行い、本資料に盛り込んでおります。 また、現在は基本構想の策定段階であり、現段階での資料には第4章新庁舎の基本理念及び第8章新庁舎に備えるべき機能が空欄となっております。ワークショップではこちらに関するご意見も多くいただきましたが、候補地ごとにその実現の可能性が異なってくるため、整備地の方針が定まった段階でお示しすることとしています。 策定作業を進めている基本構想は、実施に向けた一番初めの段階で、新庁舎整備の考え方の骨格となるものとなり、市民などのニーズを踏まえながら、事業背景や事業実施の条件等を把握・整理した上で、大まかな規模や機能等を検討し、実施の必要性を検証する段階とらえています。 新庁舎関連の情報に関しては、市ホームページ、SNS、広報等を通じ、今後も発信していく予定です。	既に盛り込み済のもの
156	「新庁舎整備に関する検討状況について」55 ページの6～8行目	洪水浸水想定区域(想定最大規模)では南二日町はエリアが赤い。ただし1000年に一度という未曾有の事だが、その1000年に一度の豪雨がこの数年で日本全地域で起きている。茨城の日立市役所もまさに河川の近くの市役所で、土砂崩れも起きている。東日本大震災を教訓にして建て替えての水没で、地下の電源設備は機能せずに、外に災害対策本部を設置したと聞いてます。そして千葉県茂原市も同様に近くの河川の氾濫によって浸水しました。 このような事例があるにも関わらず、過去の1998年に上流で決壊した大場川の真裏に新庁舎建設は安易的。市民や職員をそこに集めるのは、とてもリスクの高い行為だと思います。 防災対策に9億円を使うそうですが、現在地に庁舎建設の場合に必要なとする10億円の立体駐車場より安い防災対策など信用できません……。盛り土では地盤が弱くなるため、もっと多額の事業費が必要になるでしょうし、結果的には南二日町の方が圧倒的に予算が膨らむと感じています。交通渋滞もさらに悪化するため、道路整備に加え、国道1号からの乗り入れも入れたら、さらに工事費がかかります(なぜかこれらは予算に記載されていません)。そして北田町に新しいものを建設するならば、南二日町案は現在地よりも遥かにお金がかかります。広報みしまでは、南二日町に誘導的な内容でしたが、私は大場川さえ無ければ賛成でした。しかしあの近辺では普段でも水害で困っている市民の方が多くいます！にも関わらず、そこへの影響は微々たるものだと一蹴した三島市は異常です。ほんの少しだって生活への負担が増えるような影響はあってはならないはずですし、市民には不安になる要素があれば、それは丁寧な説明会をするべきです。とくに藤代町には障がい児の子どもを持つ友人もいますから、丁寧な対応をお願いします。 私は三島市中に住んでいますが、三島市に直撃した令和元年の台風19号では大場川がどのようになっていたか知っていますか？知っている人は南二日町は選びません。	洪水浸水想定区域(想定最大規模)については、千年に1度の確率と称される「想定し得る最大規模の降雨」によって河川が氾濫し、浸水した場合における円滑かつ迅速な避難の確保を目的に定められており、狩野川水系の大場川流域については、48時間で総雨量844mmの降雨があった場合において、概ね100mから200mごとに河川が破堤や越水、溢水した状況を浸水解析し、最悪のケースを想定したもので、南二日町広場における浸水深は1.4m程度となっております。 新庁舎を南二日町広場に整備する際には、仮に大場川が氾濫(南二日町広場付近は溢水が想定されている)した場合においても、敷地の一部に盛り土等を施すことで浸水を防止するとともに、国道1号への動線を確保することで、災害時の活動拠点としての役割が果たせると考えております。 災害時の対策を講じることによって、周辺住民の避難の場としても利用できるものと考えております。 ご指摘の他市役所の浸水被害については、氾濫した河川の浸水想定区域図が示されていないことから、万全な対策が講じられなかったのではと認識をしています。 三島市におきましては、既に国や静岡県からの指定を受け、浸水想定が示されていることから、事前に適切な対策を行うことで、想定し得る最大規模の洪水時においても庁舎機能が維持できるものと考えています。	今後の参考とするもの
157	「新庁舎整備に関する検討状況について」56 ページの1～3行目	この図は北田町など含めたエリア全体の現状の建物の倒壊率を示していますが、三島庁舎自体の倒壊率ではありません。まるで北田町に新庁舎建設をしても倒壊率が高いと誤解を招くので、補足をした方が良いでしょう。	大規模地震の発生によって全壊する恐れのある建物の割合(全壊率)を危険度として表した図です。地域の危険度を把握し、地震に対する備えにつなげることを目的としています。 全壊する建物が多くあれば、道路閉塞や火災等のリスクも増加するため、物資の搬送や人員の参集等に弊害を起こす可能性が高まることから、記載しております。	既に盛り込み済のもの

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
158	「新庁舎整備に関する検討状況について」61 ページの13～28行目	<p>前提条件は今必要ない。引越し費用など他経費は未計上、導入機能も未確定なのに、なぜ事業費でコストが安い高いなどの話をしているのでしょうか。きっと後半で総事業費が小さくなることはなく、ただ膨らむ一方だと思えます。</p> <p>まず駐車台数の条件が240台は必要ありません。職員の移動時間を省くと三島市は言っていました、そのために10億円の立体駐車場は北田町には要りません。また必要台数についても算出の仕方が古いように思います。正直、資料全体も内容に昭和を感じてしまうので、もっと若い世代に関わってもらってはどうか。なぜならこれから納税するのは若い世代がメインになるのですから、そこにも事業費への説明は責務と感ずすし、その責任から生まれるアイデアを採用してほしいです。9月定例会でも村田議員がわかりやすく説明していましたが、資料61ページ1台あたり40㎡も必要なく、その半分程度で良いらしいです。わざわざ広く計算するとそれだけ税金がかかります。コスト削減に徹してください。また北田町には市営中央駐車場があるので、利用すればよいと市民報告会でも言われていました。議会でも多くの議員がDX化を考え、それが妥当としていたと認識しています。DX化とは何か？公用車もカーシェアリングなどDX化で可能なのです。検討されていますでしょうか？</p> <p>そして島田市役所とその面積規模や駐車場数など比べていますが、島田市役所の駐車台数が多いのは近隣に大きな公園や、駐車場共用をしている施設プラザおおるりがあるからです。そんな事も知らずして比べているのかな？と心配になるのですが、そこは三島市はどのように認識していますか。そして島田市役所は国産木材など有効に使い、総事業費は80億程度に抑えたと聞いています。三島市の資料にはコスト削減の努力が感じません。DX導入によりどれだけコストを抑えられたのか、それにより、どれだけ市民に還元できる庁舎になるのか、そのビジョンを感じられる内容づくり頑張ってください。</p>	<p>新庁舎の駐車場規模については、来庁者用と公用車等に分けて必要台数を算出しています。来庁者用においては、多くの自治体が用いている算定基準を参考とし、186台分との結果になり、現状の公用車等の台数である124台との合計で、310台が必要となりましたが、そこから将来予測分を加味した上で、70台分を削減した240台を必要最低限の目安としております。</p> <p>駐車台数の目安としている240台は、現状の集約を予定する各施設の駐車台数が223台ですので、17台分を増やしたものとしますが、現在の各施設においては、来客用駐車場の用意がない施設や満車の状況が発生する施設も多く、市営中央駐車場などを利用しているケースも見受けられるとともに、将来の人口減少やDX技術の進展などの将来予測分を加味したものであることから、新庁舎の供用開始後の暫くの間は、不足する可能性がある想定をしております。北田町（現在地）での建て替えとなった場合には、目安とする240台以上に駐車場が必要となった際には、敷地の規模などから、市営中央駐車場や民間駐車場などの活用、市民ニーズに合った施設とするためには、周辺敷地の取得等も検討する必要があると考えております。</p> <p>立体駐車場については、事業費並びにライフサイクルコスト、利便性の観点から、出来る限り避けたいと考えていますが、北田町（現在地）においては、敷地面積が約7,000㎡のため、平面駐車場のみで整備をしようとしますと、通路部分を含めて6,000㎡（240台×25㎡）の駐車敷地が必要となります。</p> <p>単純計算とはなりますが、残り約1,000㎡の部分に13,234㎡の新庁舎を建設しようすると、新庁舎の建物は13階建て以上になってしまいます。現在の本庁舎の1階床面積が約2,100㎡ですので、新庁舎の1階部分は半分以下になってしまうことから、利用者の利便性などを考慮すると立体駐車場が必要であると考えています。</p> <p>立体駐車場は、平置き駐車場と違い、バリアフリーを考慮した通路やスロープを設ける必要があり駐車スペース以外に必要なスペースが必要となりますので40㎡は適切なものにとらえています。</p> <p>島田市役所が実施された事例のとおり、施設や設備を効果的に利用し、維持管理しやすくするためには、統廃合は有効な手段と考えます。これにより、施設ごとにピークの違う駐車場の混雑への対応を相互の駐車場が補い合うことが可能となり、ファシリティマネジメントの観点でも効果的であるものと考えます。島田市における国産材の利用やコストについては、基本構想の段階ではなく、基本計画の段階で検討されたものと思われま。島田市ホームページにて資料が公開されておりますのでご確認ください。</p> <p>概算事業費の想定は、物価上昇率を年間3%考慮していますので、島田市の実勢価格と比べて高く見えますが、物価上昇や実勢価格を考慮しますと当市の計画は同等以下の内容であるものと考えております。</p> <p>新庁舎は、長期利用を見据えた上で、当然のことながらコストを意識して計画してまいります。また、来庁者の利便性の向上や事務の効率化、円滑な災害対応が求められており、これを踏まえた上で、DX技術を積極的に活用し、よりコンパクトな施設を目指してまいります。</p>	今後の参考とするもの
159	「新庁舎整備に関する検討状況について」18 ページの1行目	利用頻度を見るとこれから人口が減り、自家用車を利用する方（免許証返納などで）が減り、新庁舎の役目の一つに出生率向上のための機能を盛り込み、若い夫婦や子育て世代の集まる図書館、図書館にキッズスペースなど時間を使える場所導入をお願いします	<p>新庁舎整備の際には、可能な限り、職員の職務スペースをコンパクトにするとともに、市民の皆様が利用できるスペースを確保したいと考えております。</p> <p>利便施設に関しては、市議会報告会や市民ワークショップ等にて要望があったことから、導入の検討を行っていますが、候補地ごとに必要性や採算性を考慮したうえで、今後策定する基本計画や基本設計の策定段階において、より具体的な検討を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの
160	「新庁舎整備に関する検討状況について」40 ページの4～5行目	<p>1. P40施設整備の基本方針で他施設との複合化の検討例として金融機関からレストラン・カフェ、コンビニの併設まで検討となっている。市議会報告における市民からの要望・提言に喫茶・コンビニ機能があがっているが（p19 20 行目「新庁舎整備にあたっての要望・提言」（4））ではこれは「市庁舎での収益の向上」として提言されている。これらの施設を計画にいれるにあたり市に収益があると判断されたのか。</p> <p>2. これらの事業で事業者の採算性が合わない場合は公共側のかかわりもあるのか。</p> <p>3. 「利便施設の複合化が容易」（p86新庁舎の整備について21 行目）が南二日町地区での特質にあげられている。コンビニなどは周囲が住宅の南二日町と既存の店舗の集積がある南田町ではこれらの施設への要請される度合い、内容は異なってくると考えられるが、各々のケースでの条件はどのように設定したのか。</p>	<p>新庁舎整備事業は、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、工事の各段階で、検討内容がより具体化してくるものでありますが、現在策定を進めている基本構想は実施に向けた一番初めの段階であり、事業背景や事業実施の条件等を把握・整理した上で、大まかな規模や機能等を検討し、実施の必要性を検証する段階にとらえています。</p> <p>利便施設に関しては、市議会報告会や市民ワークショップ等にて要望があったことから、導入の検討を行っていますが、候補地ごとに必要性や採算性を考慮したうえで、今後策定する基本計画や基本設計の策定段階において、より具体的な検討を進めてまいります。</p>	今後の参考とするもの
161	「新庁舎整備に関する検討状況について」64 ページの表10 -4検証14 行目から15行目	<p>1. 南二日町広場についての表10の配置計画の検証（p64 表10 -5、検証14 行目、表10 -6、検証11 行目）では、各ケースでいずれも建設地のグラウンド（多目的グラウンド、サッカーグラウンド）の代替が必要と指摘している。また、南二日町広場の道路アクセスは下田街道だけで、国道1号の接続は課題のままである（p20 表2-3 事業者意見13行目、p92 表14 -5 二日町広場行目）が、二日町広場の評価の要件としてこれらの工事、事業の実施が条件になると考えられるが、移転費用の比較では建物本体の工事に限られており、これらの工事を含んだ比較検討が必要と考える。</p> <p>2. 表10-1～6（p62 -65）の「概算事業費」の「浸水対策費」はどの範囲までの工事を計上しているのか。計画地内の想定洪水水位に対応したかさ上げはどの範囲（地域全体、建物部など）を想定しているか。</p> <p>3. また敷地外の隣接する河川、道路等の改修など発生する関連工事の検討は行われているのか。</p> <p>4. 現在の資料ではこれらの関連した事業の範囲、費用の検討、比較はないが、どの時点で関連工事をふくむ全体の費用比較が可能になるのか。</p>	<p>策定作業を進めている基本構想は、実施に向けた一番初めの段階で、新庁舎整備の考え方の骨格となるものとなり、市民などのニーズを踏まえながら、事業背景や事業実施の条件等を把握・整理した上で、大まかな規模や機能等を検討し、実施の必要性を検証する段階にとらえています。</p> <p>しかしながら、整備候補地を定める重要な段階でもあるため、概算費用においては、可能な限り算出をしておりますが、事業スキーム等を定めないと算出できないものも多くありますので、別途となっているものは、現段階では算出が困難なもののご理解いただきたいと思います。算出が可能な状況になりましたら、随時にお示しをさせていただきます。</p>	今後の参考とするもの
162	「新庁舎整備に関する検討状況について」51 ページの4～8行目	<p>駐車場整備の規模</p> <p>1. 将来の来庁者数、自動車利用率、滞留率、必要駐車場を試算しているが、試算の妥当性はなにで検証するのか。</p> <p>2. 検証、比較となる現状の来庁者数、車利用率、駐車場利用状況、滞留時間等の実態調査例が示されていないが、実態調査例はあるのか。</p>	<p>必要駐車台数を算定するにあたりましては、多くの自治体が庁舎の駐車場整備のために利用する計算方法である、建築学者の岡田光正氏が提唱した「最大滞留量の近似的計算法」を用い、集中度率は30%、平均滞留時間は、窓口を20分、窓口以外を60分としております。また、人口に対する来庁者の割合については、千葉工業大学名誉教授の関龍夫氏の文献「市・区・町役場の窓口事務施設の調査」に基づき、窓口利用0.9%、窓口以外0.6%を採用しております。</p> <p>いずれの数値におきましても、論文の作成にあたり実施された数多くの施設における実態調査結果や統計学的な観点を踏まえて、様々な文献を参考に導き出された値であるものと認識しております。</p> <p>本庁舎駐車場における混雑の状況について、9月7日から12月12日までの開庁日数65日間の満車の回数や時間を集計したところ、延べ33回で計17時間40分の間で満車となっておりますので、幾度となく駐車台数が不足した状況の確認をしております。</p> <p>今後は、様々な角度から検証を進めていき、ご理解いただけるように努めてまいります。</p>	その他（質問など）

意見 No.	該当箇所	意見の概要	市の考え方	反映結果
163	「新庁舎整備に関する検討状況について」49 ページの6～7行目	<p>市役所を訪れる際の利用する交通手段</p> <p>1. 市民アンケートの集計結果(p18)で市役所を訪れる際に利用する交通手段として「74%が自動車」であるが、駐車場の検討の項(p49 6行目)ではそれが、「来庁者の自動車ニーズが高い」と続けられている。アンケートでは利用者のニーズへの言及はなかったことから、利用者の割合を即「ニーズたかい」とする判断にはならないのではないかと考える。</p> <p>2. 自動車に次いで「徒歩10%、自転車8%」(p18)になっており、市街地という特性によると考えられるが、またアンケートに「整備検討地は公共交通によるアクセスが良く、防災上安全な場所」も意見として挙げられており、アクセスの改良で公共交通の利用の可能性はあるとみられる。アンケートの集計値の考察には、SDG や市街地の再生、コンパクトシティへの可能性など今後のあり方へつながるも視野も必要なのではないかと考える。</p> <p>3. 市民アンケートで「施設の使いかたで困ったこと」で「駐車場の利用」としてあった項目が(p17 図2-1)、駐車場の検討ページでは「市民アンケートの結果、慢性的な駐車場の混雑状況」(p52、38行目)「慢性的な駐車場不足」(p86、16行目)など、引用先でもとにはなかった「慢性的」が加わっている。アンケート以外に駐車場の利用状況の資料があったのであろうか。</p> <p>4. 駐車場の確保については表11 -1～3でみると北田町と南二日町の整備コストの差はおもには立体駐車場の建設、保全、解体等のコストによるとみることができる(p66 表11 -1～11 -3)。駐車場の確保は課題であるが元の資料を拡大した解釈で使用した説明では説得力が失われると考える</p>	<p>市民アンケートの結果より、自動車の利用率が高かったことからニーズが高いと認識しています。交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。今回のパブリックコメント用の資料には「慢性的」という表現は使われておりませんので、今一度ご確認ください。立体駐車場については、事業費並びにライフサイクルコスト、利便性の観点から、出来る限り避けたいと考えていますが、北田町(現在地)においては、敷地面積が約7,000㎡のため、平面駐車場のみで整備をしようとしますと、通路部分を含めて6,000㎡(240台×25㎡)の駐車場敷地が必要となります。単純計算とはなりますが、残り約1,000㎡の部分に13,234㎡の新庁舎を建設しようとすると、新庁舎の建物は13階建て以上になってしまいます。現在の本庁舎の1階床面積が約2,100㎡ですので、新庁舎の1階部分は半分以下になってしまうことから、利用者の利便性などを考慮すると立体駐車場が必要であると考えています。立体駐車場に関するライフサイクルコストについては、庁舎同様に80年で試算をしていましたが、将来の需要の減少を見込み、40年に改めさせていただきます。</p>	<p>政策案に反映したものの(一部反映を含む)</p>
164	「新庁舎整備に関する検討状況について」93 ページの19～21行目	<p>まちづくりの観点を踏まえた跡地等の利用</p> <p>1. 災害時の市役所の機能として「オープンスペースがないと災害時に対応できない」(p29 19行目)「自衛隊の出動に国道にちかい」(市民ワークショップp35 41行目)など災害時対応の期待があり、南二日町では災害時の拠点を想定している。現況の三島市の防災計画では南二日町広場は自衛隊の派遣要請の用地になっている。広域防災広場などの多目的に使える広場は災害復旧で時系列で変わる要請に答える場として有効であるが、平常時は運動場などの建造物のない場所でない緊急時の使い方では制約があるとされている。南二日町広場は全体で4ヘクタール程度で市役所で面積を使うと別途防災広場が必要になるのではないかと考えられる。現在の計画のような自衛隊の拠点など限定すれば可能性はあるかもしれない。自衛隊に派遣要請するような災害規模で過去の災害事例ではこれらの広場では数十ヘクタールもあり、物資輸送の中型ヘリコプターの利用や自衛隊の活動拠点の併設などをこの計画で書くような現在の残りの場所に配置ことは難しいと考える。</p>	<p>南二日町広場については、敷地に余裕があることから、庁舎敷地規模は敷地全体のおよそ半分程度約16,000～18,000㎡を使用する計画としています。また、建物の低層部分を広くとることができるため、さまざまな活動拠点等を機能させやすく、自衛隊の活動拠点を敷地内に併設することも可能であることから応援団体との連携が図りやすいものと考えます。国土交通省によれば、自衛隊災害派遣部隊の1個連隊(約400人)が野営施設、駐車場等が展開可能な面積として15,000㎡以上を目安としております。またいずれの候補地となった場合でも防災計画の見直しは必要になると考えています。</p>	<p>今後の参考とするもの</p>
165	「新庁舎整備に関する検討状況について」43ページ～	<p>第6章 新庁舎の規模について(p43～)</p> <p>複合施設の防災倉庫について、「東西南北コミュニティ防災センター防災倉庫」とあるが、そもそも、それぞれの地域にあるべきものであり、市役所にひとまとめにするのは何故なのだろうか？すでに総合防災センターが予定されているのではないかと。現状のままの維持管理が難しいのなら、小学校等の空き教室を利用することができないのだろうか。</p>	<p>各地区のコミュニティ防災センターの防災倉庫については、災害時において、市が被災地へ配布する備蓄品を保管しており、各避難所に用意している防災備蓄品とは別のものであり、1箇所を集約するほうが管理上も合理的なため、新庁舎が整備された際には、複合化する計画としています。</p>	<p>今後の参考とするもの</p>
166	「新庁舎整備に関する検討状況について」49ページ～	<p>第7章 駐車場の規模について(p49～)</p> <p>様々な統計処理によって「来庁者用」台数が算出されているかと思うが、現在の来庁者74.5%がドアトドアでの来庁では、地域の賑いは創出できない。また地域の公共交通を存続させることも行政の仕事であると思う。人々が「歩く」ことは三島市の政策である「スマートウェルネス」にも繋がる。新庁舎には広い駐輪場を設けて欲しい。</p>	<p>交通対策については、いずれの候補地が選定されても、庁舎へのアクセス面や渋滞対策、道路や歩道の整備等が必要になると考えておりますが、敷地内での配置や併設する施設などが定まらない基本構想の段階においては、事業費の算出が非常に困難であるため、次期計画以降で、より具体的な検証を進めることとなります。駐輪場に関しては、今後策定する基本計画や基本設計の策定段階において、具体的な検討を進めてまいります。</p>	<p>今後の参考とするもの</p>
167	「新庁舎整備に関する検討状況について」90ページ～	<p>第14章 新庁舎の整備地について・表14-3利便施設の規模と導入余地(p90～)</p> <p>ここには、日ごろわざわざ体育館に行かない人も、電車待ちバス待ちの人が短時間でも体を動かすことのできる運動施設(来庁の服装、靴のまま体を動かすことのできる施設)を希望する。そうすることによって、「スマートウェルネス」を推進することができると思われる。</p>	<p>利便施設に関しては、市議会報告会や市民ワークショップ等にて要望があったことから、導入の検討を行っています。候補地ごとに必要性や採算性を考慮したうえで、今後策定する基本計画や基本設計の策定段階において、より具体的な検討を進めてまいります。</p>	<p>今後の参考とするもの</p>
168	「新庁舎整備に関する検討状況について」11ページの1～12行目	<p>北田町の歴史について</p> <p>北田町に江戸幕府が出来る前に、家康の要地となり三島代官所が設立されました。その後江戸時代が終り、現市役所の周りを点々とし、現在の地に至ったと伝えております。今の場所に市役所があるのは素晴らしい事だと思えます。すぐ近くには伊豆の国一の宮の三嶋大社、清らから流れの桜川、楽寿園の森も歩いて行ける距離です。まさしく現市役所は三島市の中心にあると思えます。歴史的に考えても、この北田町の地に森と水の風土にあった新市役所を建設していただきたいと思えます。</p>	<p>新庁舎の整備地については、多くの市民の皆様からの御意見を踏まえ、来庁者の利便性向上や事務の効率化を図るとともに、災害対応の拠点並びにまちづくりの観点など、コスト面も考慮しながら、総合的な視点により選定を進めてまいります。</p>	<p>今後の参考とするもの</p>